

【平成29年度～令和元年度】浜松市外郭団体 コミットメント一覧

団体名	ページ
公益財団法人 浜松国際交流協会	P. 1～4
公益財団法人 浜松市文化振興財団	P. 5～9
公益財団法人 浜松市体育協会	P. 10～12
社会福祉法人 浜松市社会福祉協議会	P. 13～17
公益社団法人 浜松市シルバー人材センター	P. 18～22
社会福祉法人 浜松市社会福祉事業団	P. 23～26
公益財団法人 浜松市医療公社	P. 27～30
一般財団法人 浜松市清掃公社	P. 31～34
公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構	P. 35～38
公益財団法人 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー	P. 39～42
公益財団法人 浜松市勤労福祉協会	P. 43～46
公益財団法人 浜松市花みどり振興財団	P. 47～50
一般財団法人 浜松まちづくり公社	P. 51～54
株式会社 なゆた浜北	P. 55～58

【平成29年度～令和元年度】浜松市外郭団体コミットメント

様式 1



1. 団体基本情報（令和2年4月1日現在）

団体名	公益財団法人 浜松国際交流協会		市所管課	企画調整部 国際課	
資本金	354,013 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	150,000 千円 (42.4 %)	設立 年月	平成3年10月
設立目的 (簡潔に記載)	浜松市の特性を生かし、経済、学術、文化等の国際交流事業及び在住外国人の生活支援事業を幅広く行い、国際都市浜松の創造に寄与する。				

2. (政策実現のパートナーとして) 市と外郭団体の関わり方

浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	廃止を検討すべき基準	該当状況
		設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を行なっており、将来もこれらが不要と見込まれる場合は法人の廃止を検討	該当しない
	検証に対する考え方	令和元年度に入管法の改正及び日本語教育推進法施行がされ、今後も外国人の増加が見込まれるとともに、多国籍化・定住化の進展が予想されます。このため、市民主体の国際交流活動及び在住外国人に対する共生支援は、これまで以上に効果的かつ発展的に取り組んでいく必要があります。市の国際化施策及び多文化共生施策の推進母体として、官民連携により同種の事業を効果的に実施できる団体は他に存在せず、今後も国際都市浜松を創造していくために、浜松国際交流協会は必要であると考えます。	
外郭団体	経常収支状況の過年度 (令和元年度)実績に関する評価	<p>経常収益 164,215千円 (前年度: 149,009千円) 経常費用 159,283千円 (前年度: 145,461千円) 当期純利益 4,932千円 (前年度: 3,548千円)</p> <p>令和元年度においては、7月に市より浜松市多文化共生総合相談ワンストップセンター業務を受託したことから黒字となりました。引き続き同事業をはじめ、地域日本語教育の総合的な体制づくり推進業務の拡充、新型コロナウイルス対策関連業務の受託等により、黒字化を見込んでいます。</p>	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (令和元年度)実績に関する評価	「連携・協働事業の強化充実」、「国際交流・多文化共生事業の充実」の両指標ともに目標値を達成しています。引き続き、協会のこれまでの取組の中で蓄積された強みやノウハウを十分に生かし、新たな外国人材の受け入れに伴う社会環境の変化や共生に係る課題に対応した事業展開を期待します。	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	<p>無（“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること）</p> <p>【決算：当期一般正味財産増減額】 (平成30年度) 3,548千円、(令和元年度) 4,932千円 計画的な事業実施により前年度比1,384千円の増額となりました。喫緊の経営改革の必要性は生じていません。引き続き安定的な経営に努めてください。</p>	
外郭団体	理念	多様性を都市の力と捉え、誰もが能力を発揮し活躍できる多文化共生社会の実現と、世界的な視野を持つグローバル人材の育成と活用	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	<ul style="list-style-type: none"> ○多文化共生のまちづくり ○グローバル人材の育成と活用 ○体制の整備・財政基盤の充実 	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	第2次中期計画 (平成29～令和元年度)	
	上記計画における令和元年度の課題と重点目標	入管法改正及び日本語教育推進法の施行に対応し、市の受託事業として浜松市多文化共生総合相談ワンストップセンターの開設・運営や地域日本語教育方針の策定に取り組みました。今後、浜松市及び関係機関等との連携を強化していくとともに、協会スタッフの専門性を高め、併せて、協会の自立的な運営を図っていきます。	

3 コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が 団体に 求める 役割	役割	<ul style="list-style-type: none"> ○市民が主体となった国際交流活動や多文化共生活動の促進 ○市民活動と行政とをつなぐ中間支援組織としての機能の充実 ○地域社会における課題やニーズの把握と市の先導的・政策的な取組の実施 	
		位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2次浜松市多文化共生都市ビジョン（計画期間：平成30～令和4年度） ・ 第2次浜松市国際戦略プラン（計画期間：平成31～令和5年度） 	
				
浜松市 (所管課)	対応方針	浜松市が 定める 事業等の 目標	1	グローバル化の進展や社会情勢の変化に的確に対応し、市の国際交流・多文化共生施策がより効果的で発展的に展開されるよう、支援団体や関係機関等とお互いの専門性や強みを生かした連携・協働による事業実施に取り組んでください。
			2	日本人市民と外国人市民がともに暮らしやすい、多様性を地域の活性化に積極的に生かした多文化共生のまちづくりを進めるとともに、国際理解教育や語学教育等を通じたグローバル人材の育成を図ってください。
			3	
				
外郭 団体	コミットメント	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容	1	公益 増え続け多様化するニーズの把握や新たな課題解決のため、様々な分野の市民団体や関係機関等とのネットワーク化を一層図りながら、連携・協働事業の強化充実を図ります。
			2	公益 これまでの取組の成果を生かした必要なサービスの安定した提供や外国人市民の地域活動への参画を促進するとともに、国際社会で活躍できるグローバル人材の育成に積極的に取り組みます。
			3	

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標						
外 郭 団 体	1	公益 連携・協働事業の強化充実	連携・協働団体数						
	概要	増え続け多様化するニーズの把握や新たな課題解決のため、様々な分野の市民団体や関係機関等とのネットワーク化を一層図りながら、連携・協働事業の強化充実を図ります。	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
			計画	団体	-	81	85	88	91
			実績				92	137	169
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		多様なニーズの把握と課題の解決のため、NPO等支援団体や関係機関等と連携・協働し、お互いの特徴を生かした効果的で発展的な事業実施を図ります。						
	準指標1-1	新たな連携・協働による事業実施件数	区分	単位	H27年度	H28年度	29年度	30年度	R1年度
	計画	実績	件	4	2	2	2	2	
						11	12	37	
	準指標1-2	協賛や後援による活動支援件数	区分	単位	H27年度	H28年度	29年度	30年度	R1年度
	計画	実績	件	19	23	20	20	20	
20						28	28		
準指標1-3	ネットワーク会議参加団体数	区分	単位	H27年度	H28年度	29年度	30年度	R1年度	
計画	実績	団体	55	41	45	45	45		
					40	48	56		
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		第2次中期計画においても多くの関係団体等との連携強化を掲げています。また、収益性の観点からも効率的・効果的な事業実施が求められています。							
評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		いずれも目標値を超えることができた。継続団体は勿論のこと、新規団体等の掘り起こし(声掛け)などが功を奏したものと思われま。引き続き、団体等のニーズを把握し、協会のノウハウを生かした事業展開・連携を行っていきます。							
外 郭 団 体	コミットメント名		評価指標						
	2	公益 国際交流・多文化共生事業の充実	事業参加者の満足度						
	概要	これまでの取組の成果を生かした必要なサービスの安定した提供や外国人市民の地域活動への参画を促進するとともに、国際社会で活躍できるグローバル人材の育成に積極的に取り組みます。	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
			計画	%	-	76	80	85	85
			実績				93	95	95
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		地域共生・多文化交流イベントや国際理解教育講座などの事業の充実に努めるとともに、地域における協会活動の担い手の育成を進めます。						
	準指標2-1	地域共生モデル事業実施件数	区分	単位	H27年度	H28年度	29年度	30年度	R1年度
	計画	実績	件	15	12	15	15	15	
						16	15	15	
	準指標2-2	多文化交流プログラム参加者数	区分	単位	H27年度	H28年度	29年度	30年度	R1年度
計画	実績	人	2,167	2,338	2,300	2,300	2,300		
					3,135	2,835	21,183		
準指標2-3	国際理解教育事業参加者数	区分	単位	H27年度	H28年度	29年度	30年度	R1年度	
計画	実績	人	11,868	11,279	11,500	11,500	11,500		
					11,397	13,065	11,586		
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		第2次中期計画に定めた協会ミッションに直結する指標です。また、多くの市民への協会活動の一層の理解促進の観点からも重要な指標です。							
評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		高い水準で一定の満足度を得ています。今後も魅力のある事業実施・展開を行い、事業の質の維持・向上を図ります。引き続き、実施事業の満足度を確認し、市民ニーズの把握や掘り起こしを行って、必要な事業実施を計画します。							

5. 3か年のコミットメント等の総括

外郭団体		<p>3か年の総括としては、刻々と変化する社会情勢や経済環境の変化に対応した必要な事業を実施し、それが指標実績に現れたものと評価しています。</p> <p>人手不足を背景とした外国人労働者の増加や、市内外国人の国籍割合の変化など、外国人市民の定住化・多国籍化に対応しました。</p>
浜松市（所管課）	3か年のコミットメント取組総括	<p>令和元年度の入管法改正や日本語教育推進法の施行を受けて、市は多文化共生総合相談ワンストップセンターの開設、地域日本語教育方針の策定、タブレット端末を活用した多言語通訳の導入などを協会への委託により実施しました。</p> <p>協会は受託者として関係機関等と連携し効果的に対応しました。関係機関等との連携が増加し、また国際交流・多文化共生事業の参加者の満足度も高いことから、3年間の総括としてコミットメントを達成できたと評価しています。</p> <p>今後は、民間支援団体との協働・連携による新たな事業の開拓や、新たな在留資格「特定技能」の登録支援機関への登録、多文化共生や日本語教育に関する資格取得等を促進して、専門性を活かした自主財源の確保を期待しています。</p>
外郭団体	3か年の経常収支状況総括	<p>平成30年度と令和元年度の当期純利益の増加額は平成29年度と平成30年度の当期純利益の増加額に比べ少ないものの、安定した経営を維持しています。（平成29年度は、過年度の収益から積み立てを行った3,500千円の特定期間準備金を執行し35周年記念事業を実施。特定期間準備金の取り崩しは収益として計上されないため、帳簿上の当期純利益はマイナスで計上されていますが、財源は積立金から充当しており、実質としては1,881千円の黒字。）</p>

【平成29年度～令和元年度】浜松市外郭団体コミットメント

様式 1

1. 団体基本情報（令和2年4月1日現在）

団体名	公益財団法人 浜松市文化振興財団		市所管課	市民部 創造都市・文化振興課		
資本金	2,139,769 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	2,000,000 千円 (93.5 %)	設立 年月	平成5年7月	
設立目的 (簡潔に記載)	優れた芸術その他の文化（以下「芸術文化」という。）の提供、交流、創造、発信を行うこと並びに市民・地域の芸術文化活動の支援をととして市民文化の向上及び地域社会の活性化に資する。					

2. (政策実現のパートナーとして) 市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	<p>設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討</p> <p>外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討</p> <p>市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討</p> <p>検証に対する考え方 これまで培ってきたノウハウを活用し、本市の音楽文化を都市資産として市内外に幅広く発信するとともに、高度な舞台芸術の提供や次代を担う人材育成、市内各所における音楽交流を推進しており、商業ベースに乗らない分野の文化活動や地理的条件等に拘らず、すべての市民が文化を享受するための取組を進めるなど、「音楽の都・浜松」を牽引していく外郭団体として必要があります。</p>	<p>該当しない</p> <p>該当しない</p> <p>該当しない</p>
外郭団体	経常収支状況の過年度 (令和元年度)実績に関する評価	<p>経常収益 2,298,831千円 (前年度: 2,485,826千円) 経常費用 2,311,410千円 (前年度: 2,505,296千円) 当期経常増減額 ▲12,579千円 (前年度: ▲19,470千円) 当期一般正味財産増減額 ▲12,650千円 (前年度: ▲19,541千円)</p> <p>平成30年度と同様にアクトシティ浜松25周年記念事業や浜松国際ピアノコンクール(優勝者ツアー)などのために積み立てた特定費用準備資金の取り崩しを行い事業費に充てたことにより赤字となりました。翌年度も大型公演事業や文化団体活動支援事業のために積み立てた特定費用準備資金の取り崩しを行い事業費に充てる計画のため、収支相償を満たす趣旨から赤字で設定しています。</p> <p>また、令和2年度についてはコロナの影響による指定管理施設での稼働率の減や、文化事業におけるイベントの中止や規模縮小などによる減収が見込まれるため、当初予算で設定した以上の赤字が見込まれます。</p>	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (令和元年度)実績に関する評価	<p>令和元年度は、各目標指標を全項目において達成し、「創造都市・浜松」の推進に寄与したことを高く評価します。</p> <p>また、収支相償を満たす趣旨から特定費用準備資金の取り崩しを行い、アクトシティ浜松25周年記念事業や浜松国際ピアノコンクール(優勝者ツアー)などの大型公演事業を実施したことも評価します。</p>	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	<p>無(“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること)</p> <p>【決算: 当期一般正味財産増減額】 (平成30年度)▲19,541千円、(令和元年度)▲12,650千円 令和元年度は、アクトシティ浜松25周年記念事業や浜松国際ピアノコンクール事業を実施するための積立金(35,000千円)を取り崩したため、計画的な赤字となりました。喫緊の経営課題は生じていません。引き続き安定的な経営に努めてください。</p>	

外郭団体	理念	浜松市文化振興ビジョンに示されたミッションを果たしていきます。
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	浜松市の芸術文化活動に関わる様々な組織のプラットフォームとしての機能など、中間支援組織としての役割強化を図ることとあわせ、先端的な創造・発信に関わる事業に取り組み「創造都市・浜松」を推進します。
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	芸術及び文化の提供、交流、創造及び発信を行うこと並びに市民・地域の芸術文化活動の支援をととして市民文化向上及び地域社会の活性化に資することを目的とします。(定款第3条)
	上記計画における令和2年度の課題と重点目標	浜松市の芸術文化事業の実働を担う組織として培ったノウハウを活用し、更なる市民の文化活動を支えるための機能強化を果たします。 浜松市の文化事業活動の国内外への発信、次世代の人材育成、幅広い年齢層が文化活動を楽しむ機会創出、市民の活動の中間支援と活性化を促進します。 特に令和2年度においては、コロナ影響下でも文化活動を楽しむ多様な形態の事業を推進します。

3コミットメント設定の考え方

浜松市(所管課)	市が団体に求める役割	役割	市は、浜松市文化振興ビジョンに「音楽の都・浜松」の推進を掲げており、(公財)浜松市文化振興財団には、これまで培ってきたノウハウを活用し、本市の音楽文化を都市資産として市内外に幅広く発信するとともに、「音楽の都・浜松」を牽引していく外郭団体として、高度な舞台芸術の提供や次代を担う人材育成、市内各所における音楽交流の推進を期待します。	
		位置付け	浜松市文化振興ビジョン(平成21年度～令和元年度)	
	対応方針	浜松市が定める事業等の目標	1	○「音楽の都・浜松」の牽引 「音楽の都・浜松」を市内外に発信する高度な舞台芸術の提供と次代を担う人材育成に積極的に取り組んでください。
			2	○中間支援組織の機能強化と市民の芸術文化活動の自立支援 市と文化団体及び文化団体同士の活動をつなぐ中間支援組織としての機能を強化するとともに、市民が主体となって行う文化・芸術活動の自立に向けた機動的な支援や、市内全域の文化活動や情報の収集及び提供の充実を図ってください。
			3	○すべての市民が文化を楽しむための取り組み 商業ベースに乗らない分野の文化活動や地理的条件等に拘らず、すべての市民が文化を楽しむための取組を進めてください。
外郭団体	コミットメント	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容	1	公益 良質な鑑賞型事業の実施(鑑賞型事業等に対する事業評価制度を継続し、良質な事業を実施します)
			2	公益 中間支援組織としての機能を強化(浜松在住の演奏家と公演開催希望者とのマッチング事業を行い、地域における演奏家活動の活発化、演奏会機会の増加、市内広域での芸術文化事業の実施を支援します)
			3	公益 「創造都市・浜松」の推進(これまで培った人的ネットワークや事業開催ノウハウを活用し、新たに組織される浜松版アーツカウンシルと連携して、「創造都市・浜松」実現のために必要な芸術文化事業を実施します)

公益…公益的な使命や市民(利用者)目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況(市からの支出金含む)について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標							
外 郭 団 体	1	公益	良質な鑑賞型事業の実施	評価A判定事業の割合						
	概要	鑑賞型事業等に対する事業評価制度を実施し、良質な事業を実施します。		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	%	90	75	80	80	80
				実績				91	95	100
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		過去評価の課題事項を参考とした事業改善に取り組みます。令和元年度までにA評価判定率を安定させます。							
	準指標1-1	鑑賞型事業の実施本数		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	件	24	24	25	20	25
				実績				25	20	27
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		良質な鑑賞型事業の選定・実施にむけて、結果を可視化し、客観的に評価するために、事業評価制度を継続します。							
	評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】</p> <p>令和元年度は、鑑賞型事業については、27公演を開催しました。（中止した2公演を除く。新型コロナ及び出演者都合による中止。）このうち内部評価を実施した21公演は、いずれもA評価及びAA評価に達しました。高評価の主な要因は、来場者アンケートの満足度の高得点、入場率の高さ及び収支状況の高得点などによります。</p> <p>なお、内部評価の実施方法を検証するため、前年度に引き続き静岡文化芸術大学文化政策学部と共同研究で事業外部評価を実施しました。（評価対象はH30年度事業）</p>							
令和2年度においても引き続き上記指標を採用することで、需要を適切に把握した良質な事業の企画と市民の文化的満足度の向上に努めます。また、今期（H29～R1）で実施した事業の内部評価及び外部評価についても内容を検証しながら引き続き実施してまいります。										

コミットメント名			評価指標						
外郭団体	2	公益 中間支援組織としての機能を強化	演奏家マッチング数						
	概要	浜松在住の演奏家と公演開催希望者とのマッチング事業を行い、地域における演奏家活動の活発化、演奏会機会の増加、市内広域での芸術文化事業の実施を支援します。	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
			計画	件	135	129	100	100	100
			実績				105	101	102
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		演奏者登録受付システムや過年度に築いた学校・NPO法人・民間主催者とのコネクションを活かし、令和元年度に向けて安定的・恒常的に事業を継続します。						
準指標2-1	演奏派遣先のカテゴリ数	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		計画	種類	—	—	5	5	5	
		実績				7	7	9	
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性	「すべての市民が文化を享受する」ための取り組みとして、浜松市内で開催される芸術文化公演の機会を様々な分野の団体・場所で創出することで、演奏家・主催者・聴衆の文化活動の中間支援を実現します。							
	評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠	演奏家(または団体)を全102件の市内イベントに派遣しました。(新型コロナ影響により中止となった派遣依頼6件は除く) クラシック音楽のほか、吹奏楽、ジャズ、声楽、ポップダンス等の幅広い分野の演奏・創作発表機会を創出しました。 主な派遣先: 学校(小中学校課外授業、PTA事業)、児童養護施設、児童クラブ、高齢者介護施設、シニアクラブ、商業施設、市・県イベント、地域イベント(お祭り等)、公共施設など 令和2年度においても引き続き中間支援機能の強化に努めます。次期の評価指標では、マッチング件数に加え実派遣人数も把握することで具体的な効果を見極めます。 なお、令和2年度からは新型コロナの影響に鑑み、映像配信を通じて市内演奏家のミニライブや楽器演奏指導を展開します。多様な形態を通じて演奏家の活動を支援してまいります。							

コミットメント名		評価指標						
3	公益 「創造都市・浜松」の推進	支援事業・提携事業の本数						
概要	これまで培った人的ネットワークや事業開催ノウハウを活用し、新たに組織される浜松版アーツカウンシルと連携して、「創造都市・浜松」実現のために必要な芸術文化事業を実施します。	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		計画	件	—	—	0	20	20
		実績				0	0	33
コミットメントを達成するための取組内容及び期限		平成29年度は浜松市と協力して浜松版アーツカウンシルの運営統括を行うプログラムディレクターと事業(助成・自主事業の検討、調査研究等)の実施を担うプログラムオフィサーの募集選考を実施し、平成30年度の事務局の組織立上げと運営体制構築に取り組みます。						
準指標3-1	アーツカウンシルのプログラムディレクターとプログラムオフィサーの選定	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		計画	%	—	—	100	100	100
		実績				100	100	100
外郭団体	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性	浜松版アーツカウンシルの構築が「創造都市・浜松」の推進に重要と理解し、財団の担う文化活動の中間支援機能と連携を図ります。						
	評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠	令和元年度より「浜松市創造都市推進事業」の補助金事業の募集を開始し、60件の応募がありました。特に一次審査を通過した33件については、主催者の方の事業開催に向けた伴走支援や広報支援を実施しました。また、採択事業に限らず、市民や企業の文化活動の中間支援を年間を通じて実施しました。 令和2年度においても、浜松アーツ&クリエイション事業を通じて、市民及び企業の様々な文化活動を支援します。評価指標として、引き続き支援事業の採択件数を採用します。プログラムディレクター及びプログラムオフィサーの選定完了により支援体制が整ったことから、目標を30件とします。						

5. 3か年のコミットメント等の総括

外郭団体	3か年のコミットメント取組総括	3か年の総括として、目標指標を全項目において達成し、「創造都市・浜松」の中核となる諸事業の開催に寄与できたと考えます。また、文化活動の中間支援組織として一定の評価と信頼を市民から得られたと考えます。
(所管課) 浜松市		3か年の総括として、諸事業を実施し、目標指標を全項目において達成しており、「創造都市・浜松」の推進に寄与したことを評価します。
外郭団体	3か年の経常収支状況総括	平成29年度については51,915千円の黒字、平成30年度については19,541千円の赤字、令和元年度については12,650千円の赤字となりました。直近2年度の赤字は収支相償を満す趣旨での赤字で、3か年では19,724千円の黒字であり、経営状況は好調であると考えます。

【平成29年度～令和元年度】浜松市外郭団体コミットメント

様式 1

1. 団体基本情報（令和2年4月1日現在）



団体名	公益財団法人 浜松市体育協会		市所管課	市民部 スポーツ振興課	
資本金	331,603 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	50,000 千円 (15.1 %)	設立 年月	昭和55年4月
設立目的 (簡潔に記載)	浜松市における健康・体力づくりを推進し、アマチュア精神を培い、スポーツの普及・向上を図る				

2. (政策実現のパートナーとして) 市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
	検証に対する考え方	設立趣旨については、浜松市における健康・体力づくりを推進し、アマチュア精神を培い、スポーツの普及・向上を図り、もって健康で明るい市民の育成に寄与することとしています。体育協会の傘下に11の支部、65の体育振興会、48の競技団体、18のレクリエーション協会、161のスポーツ少年団、中学校体育連盟、小学校体育連合などのスポーツ団体を網羅している組織です。傘下団体のネットワークを活かし、生涯スポーツの普及・推進の中核的推進機関として活躍することを期待します。	
外郭団体	経常収支状況の過年度 (令和元年度)実績に関する評価	経常収益 1,018,456千円 (前年度: 1,006,332千円) 経常費用 983,662千円 (前年度: 961,242千円) 経常増減差額 34,793千円 (前年度: 45,090千円) 当期活動増減差額 15,477千円 (前年度: 27,631千円)	浜松市武道館において指定管理を更新できなかったこともあり、厳しい状況でした。 しかしながら、収入では、浜松アリーナにおいて大規模な興行、イベントを多く開催していただくことができ、支出においては、電気契約の見直しにより基本料金を低く抑えられ、2月末からの新型コロナウイルスの影響による施設休館等がある中で単年度黒字にすることができました。
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (令和元年度)実績に関する評価	酷暑等による光熱水費の増加傾向が見られた中での電気契約の見直しによる経費の抑制、大規模イベントの積極的な誘致活動等により、6年連続の黒字化を達成したことを評価します。新型コロナウイルスにより、先行き不透明な部分もありますが、今まで以上の創意工夫による経営改善に取組み、引き続き安定的な事業運営に努めていただきたいと思います。	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	無(“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること)	【決算：当期一般正味財産増減額】 (平成30年度) 27,631千円、(令和元年度) 15,477千円 計画的な事業実施により黒字となっており、喫緊の経営改革の必要性は生じていません。引き続き安定的な経営に努めてください。

外郭団体	理念	多くの市民にスポーツに接する機会を提供し、スポーツの普及・向上を図り、健康で明るい市民の育成に寄与する。
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	幅広い年齢層からなる加盟団体とのネットワークにより、施設を活用し多くの市民がスポーツに触れる機会を創出し、する、みる、ささえるスポーツの推進に寄与する。
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「浜松アリーナの管理に関する基本協定書(平成31年度～令和5年度)その他施設の指定管理に係る基本協定書 ・公益財団法人浜松市体育協会事業計画書
	上記計画における令和2年度の課題と重点目標	感染症対策を講じながら、施設の貸出し、自主事業の展開を行っていかなくてはならないため、施設団体利用者、加盟団体、指導者等と綿密に打ち合わせを行い、3密を避けながら利用率向上等に努めます。

3 コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が団体に求める役割	市は、浜松市スポーツ推進計画において、生涯スポーツの推進を中心に「スポーツ文化都市 浜松」の実現を目指すこととしています。 公益財団法人浜松市体育協会においては、生涯スポーツの普及・推進の中核的推進機関として活躍すること及びスポーツ施設を活用したスポーツ振興や地域活性化に寄与することを期待しています。			
	位置付け	第2期浜松市スポーツ推進計画（計画期間：平成31～令和6年度）			
					
対応方針	浜松市が定める事業等の目標	1	子どもから高齢者まで幅広い世代によるスポーツ活動の取り組み成果として、指定管理施設における年間利用者数160万人を目標としてください。		
		2			
		3			
					
外郭団体	コミットメント	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容	1	公益	指定管理施設の年間利用者数、1,600,000人を確保します。
			2		
			3		

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標							
外郭団体	1	公益	スポーツの普及・向上	指定管理施設利用者数						
	概要	指定管理施設年間利用者数160万人を確保します。		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	人	164万7千人	162万8千人	160万人	160万人	160万人
				実績				172万人	180万人	175万人
コミットメントを達成するための取組内容及び期限			営業プロジェクトと各加盟競技団体が連携しスポーツ大会、イベントの誘致を行います。また、事業プロジェクトによる教室や自主事業の見直しによる参加者増を図ります。							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性			指定管理施設を活用し、大会等の誘致や自主事業のソフト面を充実させ、市民がスポーツに接する機会を創出し、スポーツの普及・向上を図ります。							
評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠			<p>屋外施設においてはプロ野球の中止など天候不順による減少要因があった一方、管理施設における必要な改修工事の実施や、ワールドカップバレーボール、相撲巡業、総合格闘技など大規模興行が開催されたことにより、目標を達成することができました。ただし、2月末からは、新型コロナウイルスの影響により、昨年同時期に比べ、7.5万人ほどの減員となりました。</p> <p>管理施設の利用者だけでなく、広く市民の健康、体力づくりに寄与するため評価書では、新たな指数を設定しました。</p>							

5. 3か年のコミットメント等の総括

外郭団体		イベントや団体利用の誘致、自主事業の教室の拡充などにより目標を達成することができました。今後も、誘致活動を積極的に行い利用者の増加に努めます。
(所管課市)	3か年のコミットメント取組総括	指定管理施設の大規模な改修工事等がありましたが、積極的なイベント誘致や利用者増加を目指した創意工夫により、目標を超える施設利用者数を達成したことは、市民がスポーツに接する機会向上につながったことと高く評価します。過去の実績と経験を活かし、新たなスポーツプログラムの提案を望みます。
外郭団体	3か年の経常収支状況総括	3か年は、いずれも単年度黒字で、安定した経営収支状況を維持することができました。

【平成29年度～令和元年度】浜松市外郭団体コミットメント

様式 1

1. 団体基本情報（令和2年4月1日現在）



団体名	社会福祉法人 浜松市社会福祉協議会	市所管課	健康福祉部 福祉総務課
資本金	18,000 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	0 千円 (0.0 %)
設立目的 (簡潔に記載)	浜松市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図る。		
		設立年月	昭和26年9月

2. (政策実現のパートナーとして) 市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっており、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
		検証に対する考え方 少子高齢化や法改正など、社会や経済の変化に伴い、行政では対応できない、地域に根ざした取り組みやインフォーマルサービス（家族や近隣住民、ボランティアなどによる支援）の促進が求められており、地域福祉の充実と推進のためには、市社協が今後も行政との相互補完・連携協働を強化しながら事業を推進していく必要性があります。	
外郭団体	経常収支状況の過年度 (令和元年度)実績に関する評価	<p>経常収益 1,362,653千円（前年度：1,425,117千円） 経常費用 1,374,631千円（前年度：1,428,574千円） 経常増減差額 ▲11,978千円（前年度：▲3,457千円） 当期活動増減差額 ▲11,338千円（前年度：2,569千円）</p> <p>平成30年度と比較すると寄付金収入や介護保険報酬収入が減少し、全体の経常収益では▲62,465千円となりました。一方、費用面では人件費や事業費の削減により全体の経常費用は▲53,943千円となり、経常増減差額では11,978千円の赤字となりました。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応の影響がでることにより、収益的には厳しい状況が想定されますが、事業の見直しを図り支出を削減するとともに、寄付金や会費収入の増額への取り組みを強化し赤字の解消を目指してまいります。</p>	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (令和元年度)実績に関する評価	<p>コミュニティソーシャルワーカー（以下、「CSW」という。）の新規個別相談平均件数が計画値に届きませんでした。CSWの地域支援の取り組みを継続して行ったことで、新たな地区社協の開設など、地域福祉の向上に繋がりました。</p> <p>また、令和元年度は、寄付金収入が前年度から大幅に減少し、これが収支に大きく影響したことから、これまで以上に地域住民や事業者等に対して社協の活動をPRし、会費や寄付金収益を増やし、安定した事業活動ができることを期待します。</p>	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	<p>無（“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること）</p> <p>【決算：当期一般正味財産増減額】 （平成30年度）2,569千円、（令和元年度）▲11,338千円</p> <p>令和元年度は赤字となりましたが、平成28年度から平成30年度までの3か年連続の黒字を達成し、人件費や事業費の削減に努めており、喫緊の経営改革の必要性はありません。安定的な経営に努めてください。</p>	

外郭団体	理念	市民の参加と支えあいによる誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	地域福祉活動計画に基づく地域福祉事業の推進
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	第4次浜松市地域福祉計画(令和元年度～令和5年度)
	上記計画における令和2年度の課題と重点目標	地区社会福祉協議会の支援として、未設立地区(3地区)への働きかけを強化していく必要があると考えます。令和2年度の重点目標は、地区社会福祉協議会の活動・運営支援及び個別支援から地域支援とつなげる専門職としてのCSWの増員とスキルアップを目指すこととします。

3 コミットメント設定の考え方

浜松市(所管課)	市が団体に求める役割	役割	市が策定をした第4次浜松市地域福祉計画には、地域福祉を推進するために目指す理念や目標像を示しており、(福)浜松市社会福祉協議会が策定する第4次地域福祉活動計画と整合を図りながら、市社協は市と連携をし、市民や民間団体の地域福祉への参画と協働を進め、社会福祉事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化が図られ、より地域福祉が推進されていくことを期待しています。	
		位置付け	第4次浜松市地域福祉計画(令和元年度～令和5年度)	
				
浜松市(所管課)	対応方針	浜松市が定める事業等の目標	1	CSWを配置し、地域における個別課題に対し、地域の見守り・発見・つなぎ機能を強化するとともに、地域支援の仕組みづくりなど地域福祉の向上を求めます。
			2	住民主体の地域福祉活動の母体となる地区社協の活動を活発化し、地域福祉に対する住民の意識の向上と地域で住民同士が支え合う地域づくりを求めます。
			3	地域の団体やインフォーマルサービスを活用した小地域での福祉活動を通して、様々な福祉的な課題を抱える生活困窮者への対策が充実することを求めます。
				
外郭団体	コミットメント	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容	1	公益 地区社協の活動支援と個別の生活課題・福祉課題を解決するための生活支援を行うCSWを配置し、地域福祉の向上に努めます。
			2	公益 地区社協が主体になり、地域の中での“ちょっとした困りごと”を住民の互助により解決する「家事支援サービス事業」を推進し、地域の中での助け合いの仕組みづくりを推進します。
			3	公益 生活困窮者への支援について、インフォーマルな取り組みの活性化を図り、地域での課題発見、解決までの支援に努めます。特に、子どもの支援を重視し、NPO法人や社会福祉法人との連携・協働を図り、広く市内に活動の輪の拡大を目指します。

公益…公益的な使命や市民(利用者)目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況(市からの支出金含む)について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標						
1	公益	CSW事業の推進	地域支援の取り組み件数						
概要	地区社協の活動支援と個別の生活課題・福祉課題を解決するための生活支援を行うCSWを配置し、地域福祉の向上に努めます。		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
			計画	件	—	220	400	500	700
			実績				273	1,148	1,105
コミットメントを達成するための取組内容及び期限		平成29年度…全市(8名)への配置とスキルアップ研修の実施 平成30年度…エリアを考慮しながらの増員とスキルアップ研修の実施 令和元年度…配置5年となるため、業務と機能の検証							
準指標1-1	配置人数		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
			計画	人	2	4	8	10	14
			実績				8	10	12
準指標1-2	新規個別相談平均件数 (CSW1人当たり年間件数)		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
			計画	件	83.5	83.8	84.0	87.0	90.0
			実績				62.0	69.3	67.5
準指標1-3	研修会等延べ参加回数		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
			計画	回	7	14	28	35	50
			実績				23	38	36
外郭団体	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		選定理由は、地域の狭間の課題への対応と地域の福祉力向上のため、CSWへの期待が高まっていることに伴い、社協としてCSWの配置を重点事業に位置づけ、その充実強化を図ることで地域福祉の推進を図ることができると考えています。 また、CSWの役割の一つである個別支援を丁寧にする中で、その先にある地域支援や仕組みづくりに向けて取り組みを強化することが可能になります。 中期計画としては「地域福祉活動計画」があり、平成28年度の見直しの中でも、CSWの強化がうたわれています。						
	評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		<ul style="list-style-type: none"> 指標である地域支援の件数については、計画を上回る実績でしたが昨年度との比較では減少しました。これは、CSWの新任や異動等により対応件数が減少したと考えます。 地区社会福祉協議会が未設立地区への働きかけにより、平成31年4月には新規に1地区が設立されました。 配置人数については、負担金事業であり、行政との調整の中で計画より遅れていますが、増員する方向で進んでいます。 新規相談の件数については、目標数値が1人のCSWが関わる件数として適正かどうかの検証が必要であると考えます。地域支援が増加していると個別相談への対応に限られると思われます。 研修会への参加については、年度末に例年開催されていたものが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になったことや、管外研修への参加を見合わせたことにより実績が少なくなりました。 						
			CSWの役割として、課題解決のため地域力を向上させることがあります。そのためには、地域にどれだけかかわるのかが重要であり、地域支援の取り組み件数を継続して指標として設定します。具体的には、CSW1人あたり80件を目標とします。						

コミットメント名		評価指標						
2	公益 地域たすけあい支援事業の推進	地区社協内の家事支援サービス実施件数						
概要	地区社協が主体になり、地域の中でのちょっとした困りごとを住民の互助により解決する「家事支援サービス事業」を推進し、地域の中での助け合いの仕組みづくりを推進します。	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		計画	件	3,804	4,538	4,700	6,220	6,250
		実績				6,194	6,423	6,732
コミットメントを達成するための取組内容及び期限		平成29年度・・・協力員養成講座の開催や地域への周知を強化し、新たに1地区の実施を支援します。 平成30年度・・・協力員養成講座の開催や地域への周知を強化し、新たに1地区の実施を支援します。 令和元年度・・・協力員養成講座の開催や地域への周知を強化し、新たに1地区の実施を支援します。						
準指標2-1	実施地区社協数	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		計画	地区	25	27	28	29	30
		実績				28	30	32
準指標2-2	協力員活動延べ人数	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		計画	人	5,274	6,911	7,200	7,500	7,800
		実績				8,391	9,021	9,334
準指標2-3	養成講座等延べ参加人数	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		計画	人	133	52	60	60	60
		実績				129	152	110
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		選定理由は、これからの地域の中で、制度のみでは解決できない、特に高齢者の生活を支えるたすけあい活動は重要になるためです。地区社協が実施主体となる事業ですが、市社協として支援することが必要であり、この活動を通して生活支援体制を充実強化できると考えられます。 中期計画としての、地域福祉活動計画の中間見直しの中で、重点事業の中に位置づけられています。						
評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		評価指標については、すべての項目で計画値を超えることができました。地域の中のたすけあい活動は今後も重要になってきますので、新規地区への働きかけと同時にすでに実施している地区への活動支援の強化も行っていきます。 地区社会福祉協議会の家事支援サービスの活動支援としては十分な成果がみられたことを踏まえ、総体的に地区社会福祉協議会を支援することを明らかにするために、地区社会福祉協議会からの相談・対応件数を指標とすることになります。 過去の相談件数は、年度ごと地区社協の状況により異なっていますので、毎年の件数の増加ではなく、最低件数を目標値として設定します。						

外郭団体

コミットメント名		評価指標							
外 郭 団 体	3	公益 生活困窮者(世帯)への支援体制の充実強化	社会福祉協議会が関わった学習支援団体数						
	概要	生活困窮者への支援について、インフォーマルな取り組みの活性化を図り、地域での課題発見、解決までの支援に努めます。特に、子どもの支援を重視し、NPO法人や社会福祉法人との連携・協働を図り、広く市内に活動の輪の拡大を目指します。	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
			計画	団体	6	10	12	14	16
			実績				12	17	23
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		平成29年度・・・連絡会等の開催やNPO法人と連携して支援団体への研修会を開催し、地域への周知と支援団体のネットワークを強化します。 平成30年度・・・連絡会等の開催やNPO法人と連携して支援団体への研修会を開催し、地域への周知と支援団体のネットワークを強化します。 令和元年度・・・連絡会等の開催やNPO法人と連携して支援団体への研修会を開催し、地域への周知と支援団体のネットワークを強化します。						
	準指標3-1	研修会等の実施回数	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
			計画	回	—	—	1	1	1
			実績				1	4	4
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		選定理由は、生活困窮者への支援は喫緊の課題であり、特にインフォーマルの取り組みの強化が求められていると考えるからです。地域の中には、公的制度のみでは支援できない状況もあり、そのため様々な実施主体による多種多様な支援が必要です。特に、子どもへの貧困対策を重視して取り組むこととします。 中期計画としての、地域福祉活動計画の中間見直しの中で、重点事業の中に位置づけられています。						
	評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		本会がかかわった学習支援実施団体数は、目標を超えることができました。浜松市における学習支援の状況は、浜松市委託事業としての学習支援が拡大方向であり、令和元年度も複数の団体が新規に取り組みを始めました。また、自主事業としての取り組みも進んでおり、市全体での子ども支援の高まりを感じられました。 また、研修会については、学習支援実施団体からもボランティアのスキルアップにつながるような内容を求められおり、NPO法人等と連携して開催することで、一定の成果が得られたと考えています。 今後においても、市内での子ども支援の取り組みの強化を図りながら、多種多様な主体が活動しやすい環境作りを目指してまいります。 生活困窮者の支援として学習支援を指標として取り組み、計画値を超えることができました。そのため、令和2年度は、学習支援のみではなく、子ども食堂や居場所等も含めて支援の対象を拡大していきます。						

5. 3か年のコミットメント等の総括

外 郭 団 体 (所 管 松 市 課)	3か年のコミットメント取組総括	3か年の総括として、すべてのコミットメントにおいて概ね計画通りの進捗状況であったと評価しています。 ただし、CSWの事業の推進の中で達成できなかったコミットメントについては、設定基準の選定内容を検証し、コミットメントとして適切な数値目標の再設定を視野に入れて取り組みます。
		3か年の総括としてすべてのコミットメントにおいて概ね計画通りの進捗状況であったと評価しています。 達成できなかったコミットメントについては適切な数値目標の再設定を視野に入れて取り組みます。
外 郭 団 体	3か年の経常収支状況総括	事業活動計算書の当期活動増減差額において、平成29年度については215千円の黒字、平成30年度については2,569千円の黒字、令和元年度は11,338千円の赤字となりました。令和元年度は、寄付金が32,512千円の減額及び基金等の評価額の減額が大きな要因です。 サービス活動増減差額は、平成30年度より17,972千円増額しており、実施事業面からの経営状況は改善していると考えます。

【平成29年度～令和元年度】浜松市外郭団体コミットメント

様式 1



1. 団体基本情報（令和2年4月1日現在）

団体名	公益社団法人 浜松市シルバー人材センター	市所管課	健康福祉部 高齢者福祉課
資本金	0 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	0 千円 (%)
設立目的 (簡潔に記載)	「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の規定に基づき、定年退職者等への就業機会の提供等により、高齢者の能力の活用と生きがいの充実を図り、地域社会の活性化に寄与すること		
		設立年月	昭和57年6月

2. (政策実現のパートナーとして) 市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
	検証に対する考え方	シルバー人材センターは「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき設置されている公益社団法人であり、少子高齢化が進む中で、その果たすべき役割は今後更に期待されています。事業運営にかかる自己財源は、事務費収入と会費収入のみに限定されており、法の趣旨や事業の公益性の観点から国及び市からの支援が必要です。	
外郭団体	経常収支状況の過年度 (令和元年度)実績に関する評価	経常収益 1,925,997千円 (前年度: 1,847,119千円) 経常費用 1,927,769千円 (前年度: 1,847,093千円) 経常増減差額 ▲1,772千円 (前年度: 26千円) 一般正味財産増減額 ▲1,659千円 (前年度: 40千円)	令和元年度は就業拡大や派遣事業の積極的な取り組みにより、経常収益78,878千円の増となりました。また、平成29、30年度の合計実質収支差額1,468千円を、女性会員拡大のための講習会開催の経費として執行したため、令和元年度の収支は▲1,659千円となり、収支相償の原則に基づき平成29年度から令和元年度までの合計実質収支差額は▲191千円となりました。
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (令和元年度)実績に関する評価	出張説明会や企業訪問を実施し、会員数の増加、事業収入(契約金額)の増加の2項目について計画を達成したことは評価できます。就業率については、計画値比▲2.8%と達成できませんでしたが、令和2年度以降も企業と会員双方への働きかけを行うとのことなので、就業率の向上に期待します。	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	無(“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること) 【決算: 当期一般正味財産増減額】 (平成30年度) 40千円、(令和元年度) ▲1,659千円	令和元年度は、平成29年度から平成元年度までの収支相償のため赤字となりましたが、喫緊の経営課題は生じていません。引き続き安定的な経営に努めてください。
外郭団体	理念	「自主・自立、共働・共助」	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	1会員の増強と育成 2就業機会の拡大と開拓	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	第4次5ヶ年計画(平成29～令和3年度)	
	上記計画における令和2年度の課題と重点目標	①会員増強・女性会員拡大 ②就業開拓の積極的な取り組み ③福祉・家事援助サービス、介護保険事業、介護予防・日常生活支援総合事業(新総合事業)及び子育て支援事業の推進 ④安全就業と適正就業の推進 ⑤事務の効率化と経費の削減	

3 コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が団体に求める役割	役割	高齢者に就業機会を提供し、知識・経験・技能の活用と生きがいの充実を図り、地域社会の活性化に寄与すること		
		位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ・はままつ友愛の高齢者プラン（計画期間：平成30～令和2年度） ・静岡労働局と浜松市の雇用対策協定に基づく事業計画（計画期間：年度毎） 		
					
対応方針	浜松市が定める事業等の目標	1	より多くの高齢者が、知識・経験・技能を活用できる就業機会を得ることで、生きがいの充実が図られることを目指してください。		
		2	少子高齢化が進展する中で、経済の担い手として期待されている高齢者の就業先（契約金額）を拡大することで、地域経済の活性化に寄与することを目指してください。		
		3	事業収入を増加させ、経営の健全化を図ることを目指してください。		
					
外郭団体	コミットメント	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容	1	公益	会員数の増加
			2	公益	就業率の向上
			3	公益 財務	就業先の確保と事業収入の増加

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標						
外 郭 団 体	1	公益 会員数の増加	会員数						
	概要	高齢者の就業機会と社会参加を推進するために、会員数を令和元年度に4,520人以上にします。	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
			計画	人	4,332	4,409	4,453	4,495	4,520
			実績				4,394	4,519	4,575
コミットメントを達成するための取組内容及び期限		「会員自らの加入促進活動」をはじめ、出張入会説明会の開催、電子媒体・報道関係等によるPR活動を積極的に行い、令和元年度までに会員数を4,520人以上にします。							
準指標1-1	会員拡大活動月間(10月チラシ配布等)	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		計画	月	1	1	1	1	1	
		実績				1	1	1	
準指標1-2	出張入会説明会の開催	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		計画	回	0	3	3	3	3	
		実績				4	5	6	
準指標1-3	入会説明会DVD製作	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		計画	回	0	0	1	0	0	
		実績				1	0	0	
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」(第5条)において地方公共団体は、「高齢者等の意欲及び能力に応じた雇用の機会その他の多様な就業の機会の確保等を図るために必要な施策を総合的かつ効果的に推進するように努める」とされています。これは、当センターの設立目的でもあり、その上で会員数の増強を図ることは欠かすことができないことです。平成29年度からスタートする当センター第4次5か年計画においても、重点取り組み事項としています。							
評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】 会員拡大のため、例年実施している全会員によるチラシ配布活動、自治会での回覧・各戸配布、新聞折込、タウンメール(かもめーる)の他、令和元年度は出張説明会の回数増、女性会員拡大を狙ったメイクアップやカラーコーディネート等の講習会を開催する等、積極的な取り組みを行った結果、会員数は4,575人(計画値比55人増)となりました。</p> <p>【令和2年度の取り組み】 定年延長確保措置等により会員数の急激な伸びは期待できない状況にありますが、全会員によるチラシ配布活動や自治会での回覧・各戸配布、新聞折込チラシ、出張説明会を継続して実施します。また、令和2年度は新たに入会説明会参加者へのアフターフォローやホームページをリニューアルなど、会員確保はもちろんのこと、退会会員の抑制にも努めます。</p>							

コミットメント名			評価指標							
外 郭 団 体	2	公益	就業率の向上	就業率						
	概要	高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与するために、就業率を令和元年度に80.6%にします。		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	%	77.5	77.5	79.2	79.9	80.6
				実績				79.5	76.3	77.8
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限			就業機会の拡大・開拓に取り組むとともに、未就業会員を中心に希望職種 の把握、就業相談会の開催等により、令和元年度までに就業率を80.6%に します。						
	準指標2-1	希望職種調査		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	回	1	1	1	1	1
				実績				1	1	1
	準指標2-2	就業相談会の開催		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	回	4	4	4	4	4
実績				4				4	4	
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性			「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」(第5条)において地方公共団 体は、「高齢者等の意欲及び能力に応じた雇用の機会その他の多様な就 業の機会の確保等を図るために必要な施策を総合的かつ効果的に推進す るよう努める」とされています。これは、当センターの設立目的でもあり、平 成29年度からスタートする当センター第4次5ヶ年計画においても、就業機会 の拡大等による就業率向上を重点取り組み事項としています。							
評価指標の過年度結果分析 及び 令和2年度の目標水準の設定根拠			【過年度分析】 計画値には及びませんでした。就業希望アンケートや就業相談会の実 施、労働者派遣事業への積極的な取り組みにより、令和元年度の実績は 77.8%となりました。(前年度比1.5%増)							
			【令和2年度の取り組み】 就業希望アンケートや就業相談会の実施、労働者派遣事業への積極的な 取り組みを継続するとして、会員の就業意識向上や技術、技能の向上を目的 とした研修、講習会を開催し、会員の就業機会の幅を広げるなど、就業率 の向上に努めます。							
外 郭 団 体	3	公益 財務	就業先の確保と事業収入の増加	評価指標						
	概要	就業機会の拡大に努め、就業先の確保と事業収入の増加を図ります。契約金額を令和元年度には1,736,600千円以上にします。		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	千円	1,630,015	1,699,668	1,700,800	1,717,900	1,736,600
				実績				1,716,115	1,728,041	1,805,857
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限			希望職種に応じた就業先を会員に提供するため就業推進委員会を中心に 就業開拓に取り組めます。新規企業訪問や既存就業先へのアフターフォ ロー及び同一企業内での新規分野での開拓を行います。また、チラシやパ ンフレットの配布の他、マスコミ媒体等を活用し、センター事業をPRします。 契約金額を令和元年度には1,736,600千円にします。						
	準指標3-1	開拓員等による企業訪問		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	件	624	296	300	310	320
				実績				376	1,013	798
	準指標3-2	就業先拡大活動月間(10月チラシ配布等)		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	月	1	1	1	1	1
実績				1				1	1	
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性			事業運営に係る自己財源の確保が厳しい中、就業先の確保と事業収入の 増加を図ることにより、自立的な運営を目指していくことが必要です。また、 第4次5ヶ年計画においても就業機会の拡大と開拓を掲げています。							
評価指標の過年度結果分析 及び 令和2年度の目標水準の設定根拠			【過年度分析】 チラシによるPRや就業開拓員による企業訪問を行い、就業機会の確保に努 めたことにより、計画値を上回りました。							
			【令和2年度の取り組み】 引き続き、会員の希望職種を勘案した就業開拓に取り組む、就業先の確保 と事業収入の増加を図ります。							

5. 3か年のコミットメント等の総括

外郭団体	3か年のコミットメント取組総括	「会員数の増加」、「就業先の確保と事業収入の増加」の2つのコミットメントについては、様々な取り組みにより達成することができました。「就業率の向上」については目標値の達成には至りませんでしたが、令和2年度以降も目標値を達成できるよう、継続的な取り組みを定着させつつ、より効果的な取り組みも積極的に展開していきます。
(所管 浜松市 課)		3か年の総括として、概ね順調に事業の推進が図られたものと評価します。 企業等への訪問等の結果、契約金額は目標を上回る数値を達成したため、企業への働きかけを継続することにより、達成できなかった就業率の向上を期待します。
外郭団体	3か年の経常収支状況総括	平成29年度から令和元年度までの3事業年度の収支は▲191千円となりました。(収支 平成29年度：1,428千円、平成30年度：40千円、令和元年度：▲1,659千円) 3か年を通し、シルバー人材センターとしての役割と期待に応えるため、様々な取り組みを展開することで、ほぼ収支が均衡し、公益法人としての収支相償を満たすことができました。

【平成29年度～令和元年度】浜松市外郭団体コミットメント

様式 1

1. 団体基本情報（令和2年4月1日現在）



団体名	社会福祉法人 浜松市社会福祉事業団	市所管課	健康福祉部 障害保健福祉課
資本金	3,000 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	3,000 千円 (100.0 %)
設立目的 (簡潔に記載)	障害の早期発見・早期療育、リハビリテーションまでの一貫した障害福祉支援を目的として、平成4年7月に開所した発達医療総合福祉センターの管理運営を行うため。		
		設立年月	平成4年2月

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
	検証に対する考え方	医療や福祉サービス、リハビリテーションを一貫して提供するとともに障害児者の自立更正、社会参加の支援を行う総合福祉施設を運営しており、障害福祉施策の中核的推進機関としての役割を担っています。同様の一体的サービスを提供できる市内民間法人は無く、今後も医療・福祉共にニーズの増加が見込まれていることから外郭団体は必要です。	
外郭団体	経常収支状況の過年度 (令和元年度)実績に関する評価	令和元年度の経常収益(サービス活動収益+サービス活動外収益) 1,506,756千円(前年度:1,357,021千円) 経常費用(サービス活動費用+サービス活動外費用) 1,505,744千円(前年度:1,452,112千円) 経常増減差額 1,012千円(前年度:▲95,091千円) 当期活動増減差額 1,012千円(前年度:▲95,044千円) 平成30年度にて内部留保の調整が終了し、令和元年度は指定管理料が95,046千円増加したことに加え、延べ診察人数の増等に伴い利用料金収入が増加し、1,012千円の黒字となりました。	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (令和元年度)実績に関する評価	施設稼働率の維持については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として一部事業の縮小を行いました。年間目標値は達成することができました。また、専門性の高い職員の確保育成や自主事業の実施数はわずかに計画値に届きませんでした。サービスの質の向上や地域課題の解決に向けた取り組みがなされたことは評価します。	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	無(“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること) 【決算:当期一般正味財産増減額】 (平成30年度)▲95,043千円、(令和元年度)1,012千円 計画的な事業実施により黒字となりました。喫緊の経営改革の必要性は生じていません。引き続き安定的な経営に努めてください。	

外郭団体	理念	すべての人の生命に安全を、すべての人の生活に安心を、すべての人の人生に輝きを
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	医療と福祉の専門性を通じて ①支援を必要とする人々のよき伴走者となる ②人生や地域をつなぐ軸となり安全網となる ③新たな価値観・文化を創造する
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	令和元年度事業計画 浜松市社会福祉事業団中期経営計画（令和元年度～令和5年度）
	上記計画における令和2年度の課題と重点目標	①児童発達支援のニーズ増大に対応し療育機能を強化するため、児童発達支援事業所の現状と課題について調査研究を進める。 ②「医療的ケアを必要とする児童（在宅重症心身障害児）に対する支援において、多職種間連携を調整する人材（コーディネーター）の配置」を進めるため、小児在宅医療に関する調査研究や研修会などの開催、学校等への看護師の派遣、支援者の相談などに取り組む。 ③子ども・発達障害・重症心身障害児などへの専門性を生かし、特に、この分野での相談において基幹センター的な役割を推進する。 ④ABAを基本とした療育の実践や研究、研修、普及への取り組み、調査研究を進めていく。 ⑤福祉避難所の課題について調査・検討を行う。人工呼吸器などに必要となる非常用電源の確保やその他の資器材の配備に努める。

3 コミットメント設定の考え方

浜松市（所管課）	市が団体に求める役割	役割	医療と福祉サービスの連携した障害福祉施策の中核的推進機関としての役割を担うことを期待しています。
		位置付け	浜松市障がい者計画
			
浜松市（所管課）	対応方針	浜松市が定める事業等の目標	1 医療と福祉サービスを一体的に提供できる強みを活かすため、専門性の高い職員の確保・育成に努めてください。
			2 充実したサービス提供を目指してください。
			3 利用者のニーズや時代のニーズを取り入れて、地域課題を解決することを目指してください。
			
外郭団体	コミットメント	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容	1 組織 質の高いサービスを提供するため、利用者増加に応じた専門職員の適正な人材確保（内部登用による正規化を含む）により、専門性の更なる向上を図ります。
			2 公益 施設の機能を最大限活かし、施設部門で稼働率100%以上を維持していきます。
			3 公益 地域課題を解決するため、自主事業を実施します。

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標							
外郭団体	1	組織	専門性の高い職員の確保・育成	正規職員の資格保有率						
	概要	質の高いサービスを提供するため、専門職員の適正な人材確保(内部登用による正規化を含む)、育成により、資格保有率100%を目指します。		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	%	-	-	88%	89%	90%
				実績				89%	90%	90%
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限			正規職員の安定的採用と非正規職員の正規職員への内部登用試験を実施します。また、給与の調整額の支給や研修助成制度の運用、介護・育児・看護に伴う休暇等の取得要件の緩和等、資格保有者の採用及び定着に向けて取り組みます。						
	準指標1-1	正規職員への内部登用試験の実施		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	回	1	1	1	1	1
				実績				1	0	1
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性			医療と福祉サービスを一体的に提供できる強みを活かすため、専門性の更なる向上を目指し、専門職員の人材確保(内部登用による正規化を含む)への取り組みを継続していきます。						
	評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠			<p>非正規職員の正規職員への内部登用試験を継続的に行い、専門職員の確保を行うことができました。ただし、医療・福祉のニーズに対応するため、医師や臨床心理士などを増員したことや、事業の拡大に伴う正規職員数の増加もあり、専門職員の総数は増加しましたが、正規職員の資格保有率の令和元年度計画にはやや届きませんでした。</p> <p>(正規職員の資格保有者/正規職員総数) H29年度当初 99/113 (87.6%) R1年度末 115/128 (89.8%)</p> <p>内部登用や資格取得に対する社内での助成制度活用を促し、資格取得に対する支援を行い、毎年1%ずつ資格保有者職員を増やします。</p>						
外郭団体	コミットメント名			評価指標						
	2	公益	施設稼働率の維持	施設稼働率						
	概要	施設の機能を最大限活かし、施設部門で稼働率100%以上を維持していきます。		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	%	110	109	109	109	109
				実績				110	105	109
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限			施設毎に目標稼働率を設定し、計画的に利用者を受け入れます。						
	準指標2-1	定員に対する契約者人数		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	%	137	137	135	135	135
				実績				136	136	135
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性			安定した経営を行うために、利用料金収入である施設部門の稼働率100%を維持します。中期経営計画にも目標施設稼働率100%を掲げています。						
評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠			<p>平成30年度はインフルエンザの流行やそれに伴う施設の閉所等の影響により、施設稼働率が105%となりましたが、その他の年度では概ね110%程度を維持することができました。</p> <p>令和2年度以降は法令を遵守し、利用希望者ができる限り施設を利用できるようにするため、施設稼働率100%を目標水準とします。</p>							

コミットメント名		評価指標							
外郭団体	3	公益 地域課題の解決	自主事業実施数						
	概要	地域課題(市民が抱える様々な悩みや課題)を解決するため、自主事業を実施します。	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
			計画	事業	8	9	9	10	11
			実績				11	11	9
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		地域課題、ニーズに即応した自主事業を実施していきます。						
	準指標3-1	自主事業 実施回数(延べ)	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	計画	回	27	23	25	25	25		
					実績	26	23	20	
	準指標3-2	自主事業 参加人数(延べ)	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	計画	人	692	873	700	700	700		
実績					750	653	668		
準指標3-3	事業の見直し(新規含む)	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
計画	事業	8	9	9	10	11			
				実績	11	11	11		
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		時代のニーズを捉え、自ら発信し、新たな事業を展開することで、地域課題を解決することを目指します。中期経営経計画にも、地域の福祉ニーズを先取りした取り組みを進めることを掲げています。							
評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		平成29年度からは、地域における医療及び福祉専門職の多職種連携研修として静岡県に協力した自主事業を展開するなど、地域のニーズに対応し、自主事業数を増やしました。平成30年度以降は、自主事業内容の見直しを行うことで地域の課題解決を図っています。令和元年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月に予定していた自主事業2つを中止としたため、実績数が減少しました。							

5. 3か年のコミットメント等の総括

外郭団体	3か年のコミットメント取組総括	<p>3か年の総括として概ね計画通りであったと評価しています。正規職員の資格保有率の増加については、研修助成制度の積極的な活用等を促し、今後も数値目標を明確にし取り組んでまいります。施設利用率については、利用者の契約者数は確保することができ、安定した利用率を保つことができたが、インフルエンザ等の感染症による一時的な影響がありました。地域課題の解決については、地域ニーズに対応し、平成27年度以降自主事業は3つ増加し、既存の事業も内容を改善するなど積極的に取り組みました。</p>
(所管松市)		<p>市が団体に求めた障害福祉施策の中核的推進機関としての役割を担うために定めた目標に対して、拡充を達成できたものと評価できます。今後も地域ニーズに対応した質の高いサービスの提供を期待します。</p>
外郭団体	3か年の経常収支状況総括	<p>平成28年度末時点における内部留保額658,809千円を調整するため、平成29年、30年度の計画的な経常増減差額の赤字化を実施しました。調整完了後の令和元年度は1,012千円の黒字となりました。</p>

【平成29年度～令和元年度】浜松市外郭団体コミットメント

様式 1

1. 団体基本情報（令和2年4月1日現在）

団体名	公益財団法人 浜松市医療公社		市所管課	健康福祉部 病院管理課	
資本金	530,000 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	530,000 千円 (100.0 %)	設立 年月	昭和47年11月
設立目的 (簡潔に記載)	浜松医療センターの運営団体として、医療及び公衆衛生活動に関する各種事業を行う。				

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」 第5条第1項第1号)	<p>設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討</p> <p>外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討</p> <p>市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討</p> <p>検証に対する考え方 地域住民の命と健康を守る最後の砦である浜松医療センターの運営団体として存続していく必要があります。また、市内には、他にも急性期病院がありますが、当院は、公立病院として急性期医療、高度医療、政策的医療を行い地域医療を確保する必要があります。そのため、市は不採算事業への交付金の支出が必要不可欠です。よって当外郭団体は必要です。</p>	<p>該当しない</p> <p>該当しない</p> <p>該当しない</p>
外郭団体	経常収支状況の過年度 (令和元年度)実績に関する評価	<p>経常収益 18,059,354千円 (前年度:17,364,043千円) 経常費用 18,059,354千円 (前年度:17,364,043千円) 経常損益(当期経常増減額) 0千円 (前年度:0千円) 当期純利益(当期一般正味財産増減額) 0千円 (前年度:0千円)</p> <p>平成30年度と比較すると実質的な利益である指定管理者変動負担金が273,787千円の減となったものの、収支相償を維持することができ、経常収支比率100%を達成しました。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により非常に厳しい経営となる見込みです。</p>	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (令和元年度)実績に関する評価	救急、小児・周産期、感染症などの政策的医療、高度・専門医療を担い、公立病院としての使命を果たしつつ、専門外来の充実、新設の施設基準の取得、平均在院日数の適正化などにより収益を確保し、経費の節減に努めることで、経常収支比率100%の目標を達成することができました。	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	<p>無(“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること)</p> <p>【決算:当期一般正味財産増減額】 (平成30年度)0千円、(令和元年度)0千円</p> <p>計画的な事業実施により収支相償となりました。喫緊の経営改革の必要性は生じていません。引き続き安定的な経営に努めてください。</p>	

外郭団体	理念	安全・安心な、地域に信頼される病院
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	(1) 患者の権利と尊厳を尊重し、患者中心の安全・安心な医療を提供します (2) オープンシステムを活用し、地域医療連携ネットワークを強化します (3) 地域の救急・災害医療を支え、小児・周産期医療を守ります (4) 時代の要請に応えた高度・先進医療を推進します (5) 医療に関する調査・研究を推進し、国内外に情報を発信します (6) 職員の教育・研修に努め、国際的に通じる真の医療人を育成します (7) 効率的な病院経営に努め、健全な財政基盤を確立します
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	浜松医療センター中期計画 (平成28～令和2年度)
	上記計画における令和2年度の課題と重点目標	課題：病床利用率の低下 重点目標：地域の医療機関との役割分担、連携をさらに深め、救急医療、がん診療、小児・周産期医療など、急性期医療を必要とする高い水準の医療を提供するとともに、地域の中核病院の役割・機能を効果的に発揮し、経営の安定化を図ります。

3 コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が 団体に 求める 役割	役割	浜松医療センター中期計画に基づき、安心・安全な、地域に信頼される公立病院として、地域医療機関との連携及び役割分担のもと、質の高い救急医療、小児・周産期医療、感染症医療、災害その他の緊急時における医療等の政策的医療や高度専門医療を提供するとともに、民間のコスト意識やノウハウによる効率的な病院経営を期待します。また、市と協働による新病院建設を計画通り確実に実施するための協力を期待します。		
		位置付け	新公立病院改革プラン (計画期間：平成28～令和2年度)		
	対応方針	浜松市が 定める 事業等の 目標	1	高度専門医療や地域医療を担う公立病院としての役割を果たしつつ、安定した経営基盤を確立し、健全な病院経営を維持してください。	
2			公立病院として、一般の医療から政策的医療・高度専門医療まで、地域住民に質の高い安全な医療を提供してください。		
3			県西部地域の中核的な医療機関として、地域の医療水準の向上に努め、地域医療に貢献してください。		
外郭団体	コミットメント	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容	1	財務	持続可能な病院運営を行うため、経常収支比率100%を維持します。
			2	公益	地域住民に政策的医療・高度専門医療を提供します。
			3	公益	地域の診療所等と連携し、地域の医療の質を向上させるため、紹介・逆紹介を積極的に行います。

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標							
外 郭 団 体	1	財務	持続可能な病院運営	経常収支比率100%の維持						
	概要	持続可能な病院運営を行い、新病院への移行を円滑に進めるため、黒字経営を維持します。		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
				実績				100.0	100.0	100
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		中期計画に掲げる事業期間中の経常収支比率100%を維持するため、診療報酬改定に対応した施設基準の取得などによる収入の確保、ベンチマークシステムを活用した薬品や材料の価格交渉などによる経費の節減に努めます。計画値の設定は、中期計画の終期(令和2年度)までとしています。							
	準指標1-1	入院収益		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	億円	111.6	109.8	113.1	113.3	113.5
				実績				114.9	119.3	120.9
	準指標1-2	外来収益		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	億円	35.2	35.5	35.9	36.0	36.0
実績				36.4				39.2	44.2	
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		業務運営の改善及び効率化等を進め、病院運営を的確に行うため、中期計画に掲げる「経常収支比率100%の維持」とします。								
評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】 平均在院日数の短縮等により病床利用率は2.0ポイント減の84.4%となったものの、診療単価の増に伴う入院収益の増などにより、昨年度比2.7億円減の1.3億円の指定管理者変動負担金を市に納付することができ、経常収支比率100%を達成することができました。</p> <p>【目標水準の根拠】 これまでの準指標である入院収益及び外来収益は、施策の実施や企業努力の最終結果を表すものです。令和2年度は、高度急性期病院としての将来を見据え、病床利用率の向上及び平均在院日数の短縮を準指標とし、入院収益の安定的な確保と高い水準の医療の提供を目指します。</p>								
外 郭 団 体	2	公益	政策的医療・高度専門医療の提供	救急車受入患者数						
	概要	地域住民に救急医療、小児・周産期医療、感染症医療、災害その他の緊急時における医療等の政策的医療や高度専門医療を提供します。		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	人	6,056	6,281	6,095	6,100	6,600
				実績				6,591	6,566	6,512
	分娩件数		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
				計画	件	1,337	1,189	1,225	1,250	1,300
				実績				1,052	975	863
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		断らない救急医療の実現、周産期医療の受け入れ強化、感染症患者の受け入れ、災害時の医療救護活動等を行います。計画値の設定は、中期計画の終期(令和2年度)までとしています。							
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		政策的医療・高度専門医療の提供は、公立病院の使命であり、地域医療の要となるもので、中期計画での重要な項目です。							
	評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】 断らない救急医療を目指して取り組んだ結果、救急車受入患者数は6,512人と前年度を54人下回ったものの昨年度と同程度の患者を受け入れました。分娩については、浜松医科大学病院の麻酔科医局の協力を得て、麻酔科医師、産婦人科医師及び助産師がチームで行う無痛分娩を実施する体制の構築を行いました。前年対比112件の減となりました。</p> <p>【目標水準の根拠】 令和元年度までの評価指標である救急車受入患者数及び分娩件数は、公立病院の政策的医療の役割を果たす中で非常に重要な指標ですが、外的要因に影響を受けやすい指標です。令和2年度は、特定健康診査(特定健診)、人間ドック等を指標とし、疾病・生活習慣病の発症や重症化を防ぐことで、地域住民の健康維持・増進を図り、健康寿命の延伸に寄与していきます。</p>							

		コミットメント名	評価指標							
外郭団体	3	公益	地域医療への貢献	紹介率						
	概要	地域診療所等と連携し、県西部地域の医療の質の向上に関する業務を行います。また、地域性を考慮した特定健診・生活指導等を実施するとともに、地域住民の健康増進及び疾病予防のための公衆衛生活動を実施します。		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	%	75.0	78.6	80以上	80以上	80以上
				実績				78	76.9	77.4
				逆紹介率						
				区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	%	69.5	70.3	70以上	70以上	70以上
	実績				66.2	71.2	81.5			
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		地域の医療の質の向上に努めるため、他の医療機関との役割分担と連携強化を図り、紹介・逆紹介を積極的に行います。計画値の設定は、中期計画の終期(令和2年度)までとしています。							
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		民間病院と公立病院の適切な役割分担の下で、地域医療への貢献は、公立病院の重要な責務と考えており、中期計画の項目としても掲げられています。							
評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】</p> <p>紹介率は、開業医等からの紹介件数が前年度並みだったことに対し、初診患者数が昨年度比297件減少するなど(時間外患者数も134件減)、昨年度比0.5ポイントの増となりました。</p> <p>逆紹介率は、紹介患者に対する確実な返書管理の徹底などにより、診療情報提供書件数が1,538件増加するなど、昨年度比10.3ポイントの増となっています。</p> <p>【目標水準の根拠】</p> <p>紹介率については、総合診療内科の充実を図り紹介患者の積極的な受け入れを行い、指標の向上に努めます。</p> <p>逆紹介率については、病状が安定した患者の逆紹介が円滑に進むよう診療情報提供書作成の周知徹底を図り、引き続き指標の達成に努めます。</p>								

5. 3か年のコミットメント等の総括

外郭団体 (浜松市 所管課)	3か年のコミットメント取組総括	<p>3か年の総括として持続可能な病院運営(経常収支比率100%の維持)及び地域医療への貢献(紹介率及び逆紹介率)は概ね目標を達成できたと評価しています。政策的医療・高度専門医療の提供(救急車受入患者数及び分娩件数)については、様々な対策を講じたものの、浜松市全体の出生件数の減など外的要因の影響により、経営努力のみでは如何ともしがたい結果となりました。</p> <p>令和元年度で指標を達成できなかった救急車受入患者数については、当院の入院患者の多くを救急搬送で占めている現状を踏まえ、今後も断らない救急を目指して、救急搬送患者をより効率的に受け入れるよう診療体制の強化を図り、指標の達成に努めます。また、分娩件数については、浜松市全体の出生件数が減少している現状を鑑み、浜松市内の分娩シェア率の向上に努めるなど、公立病院の役割を果たしていきます。</p>
		<p>3か年の総括として、患者数の増加や施設基準の新規及び上位基準の取得など経営改善の取り組みや地域との連携によって、持続可能な病院運営(経常収支比率100%の維持)及び地域医療への貢献(紹介率及び逆紹介率)は概ね目標を達成できたと評価しています。達成できなかった救急車受入患者数及び分娩件数については、引き続き救急搬送患者の受け入れ体制の強化や安全・安心な出産ができるよう産婦人科医師の確保や医療体制の確保に取り組む必要があると考えます。</p>
外郭団体	3か年の経常収支状況総括	<p>実質的な利益である指定管理者変動負担金は、平成29年度については295,388千円、平成30年度については407,660千円、令和元年度は133,873千円でした。3か年すべてで経常収支比率100%を達成しており、年度当初の赤字や月ごとのばらつきはあるものの、経営状況は概ね安定していたと考えています。</p>

【平成29年度～令和元年度】浜松市外郭団体コミットメント

様式 1



1. 団体基本情報（令和2年4月1日現在）

団体名	一般財団法人 浜松市清掃公社	市所管課	環境部 ごみ減量推進課
資本金	10,000 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	5,000 千円 (50.0 %)
設立目的 (簡潔に記載)	環境衛生の向上及び環境保全に関する事業を行い、市民の快適な生活に寄与すること		
設立年月	昭和44年4月		

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
	市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討		該当しない
	検証に対する考え方	設立目的について：安定したし尿汲み取りや浄化槽清掃等は今後も公衆衛生の維持のために必要なものです。 同様の事業について：清掃公社は、長年にわたり旧浜松市域の唯一の許可業者として、し尿・浄化槽汚泥収集に携わっており、安定的な業務の継続が必要です。 市の関与について：経営の安定を継続するため市の関与は必要です。以上のことから、清掃公社はし尿処理部門における公益的な部分を担っており、外郭団体として必要と判断します。	
外郭団体	経常収支状況の過年度 (令和元年度)実績に関する評価	経常収益 759,882千円 (前年度：761,813千円) 経常費用 663,331千円 (前年度：669,393千円) 当期経常増減額 96,541千円 (前年度：92,410千円) 当期一般正味財産増減額 65,333千円 (前年度：59,846千円) 経常収支状況は黒字となりました。 平成30年度と比較すると退職金支出の減などにより費用が減少したため、当期一般正味財産増減額が増となりました。 令和2年度は35,733千円の黒字を見込んでいます。	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (令和元年度)実績に関する評価	コミットメントは概ね達成され、経常収支も継続して黒字であり、安定的な運営がなされています。	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	無（“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること） 【決算：当期一般正味財産増減額】 (平成30年度) 59,846千円、(令和元年度) 65,333千円 計画的な事業実施により黒字となっており、喫緊の経営改革の必要性は生じていません。引き続き安定的な経営に努めてください。	
外郭団体	理念	市域の環境保全及び公衆衛生の向上に寄与するため、生活環境の清潔維持に努めます。	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	①設立時の使命である「し尿及び浄化槽汚泥の安定・確実な収集作業」を行い、環境衛生の向上に努めます。 ②清掃公社の業務量は、下水道の進捗により大きく影響を受けることとなり、今後も減少傾向にありますので、独立採算の経営を継続し、更なる安定経営の確保に努力をしていきます。	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	第2次経営計画 (平成29年度～令和3年度)	
	上記計画における令和2年度の課題と重点目標	・業務量の的確な把握と効率的な運営による経営の安定化 ・必要な職員数の確保と業務量に見合った適正な職員配置 ・ベテラン職員から若手職員への技術伝承 ・職員一人ひとりの意識改革や資質向上	

3 コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が 団体に 求める 役割	役割	清掃公社は、し尿・浄化槽汚泥の収集運搬や浄化槽清掃等を通じて、環境衛生の向上及び環境保全に関する事業を行い、市民サービスの維持・向上に努めることや、平時における他の許可事業者の模範的な役割を担うとともに、災害時には市との行政協力を積極的に行うことを期待します。		
		位置付け	浜松市一般廃棄物処理実施計画		
					
浜松市 (所管課)	対応方針	浜松市が 定める 事業等の 目標	1	し尿収集業務は着実な収集作業に努めるとともに、浄化槽清掃についても業務を適切に実施してください。	
			2	職員数の適正化や黒字決算の維持により、安定した組織運営に努めてください。	
			3		
					
外郭 団体	コミットメント	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容	1	公益	安定したし尿及び浄化槽汚泥の収集運搬業務を行い、市民の生活環境の清潔維持及び公共水域の水質保全に寄与してまいります。
			2	組織	独立採算の経営を継続するため、業務量に見合った職員数の適正化に努め、黒字決算による健全経営をしてまいります。
			3		

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

		コミットメント名	評価指標						
外郭 団体	1	公益 市民の生活環境の清潔維持及び公共水域の水環境の保全	し尿及び浄化槽汚泥の安定・確実な収集						
	概要	安定したし尿及び浄化槽汚泥の収集運搬業務を行い、市民の生活環境の清潔維持及び公共水域の水質保全に寄与してまいります。	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
			計画	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績				100.0	100.0	100.0
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		<ul style="list-style-type: none"> ・快適な生活環境を維持するため、着実なし尿の収集を行います。 ・水環境の保全に寄与するため、浄化槽清掃の法定清掃回数の周知徹底に努めます。 						
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		公事業は、市民の快適かつ衛生的な生活環境の維持に必要不可欠であります。						
評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】計画どおり達成できました。</p> <p>【目標水準の根拠】計画的なし尿の定日収集を行い、100%であることが、本来あるべき姿です。浄化槽清掃の法定清掃回数の周知徹底に努め、公共水域の水質保全に寄与してまいります。</p>							
		コミットメント名	評価指標						
外郭 団体	2	組織 安定経営の継続	黒字決算による健全経営の維持						
	概要	独立採算の経営を継続するため、業務量に見合った職員数の適正化に努め、黒字決算による健全経営をしてまいります。	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
			計画	千円	▲ 107,519 (市への寄附3億円含む)	▲ 53,160 (市への寄附2億円含む)	45,552	23,888	38,742
			実績		82,674	59,846	65,333		
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		職員数の適正化及び事業経費の節減、並びに業務の合理化に取り組み、健全かつ安定経営を維持します。						
	準指標2-1	業務量に見合った職員数の適正化	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		計画	人	60	58	58	52	52	
		実績				52	51	52	
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		<ul style="list-style-type: none"> ・黒字決算による健全経営を持続し、お客様に満足していただけるサービスの提供を心がけます。 ・安定経営を維持するため、業務量に見合った職員数の適正化に努めます。 							
評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】公益目的支出計画の実施に伴い、5年間市へ寄附を行い赤字決算が続きましたが、いずれの年度も寄附を除く当年度純利益は黒字であり、健全経営を維持することができました。</p> <p>令和元年度の収益は、浄化槽清掃の収益が横ばいだったことにより公社全体の収益は僅かな減少にとどまりました。費用は、退職金支出の減などにより減少となりました。この結果、前年度と比較して収支が増となり、今年度は65,333千円の黒字となりました。</p> <p>【目標水準の根拠】平成29年3月に策定しました第2次経営計画により、今後、減少傾向にある業務量の推移を予測し、それに応じた経費の節減等を考慮しました。</p>							

5. 3か年のコミットメント等の総括

外郭 団体		3か年の総括として、市民生活に影響を及ぼさないよう業務を着実に遂行するとともに、収入に見合った安定経営を継続することができたと評価しています。
(所 管 松 市 課)	3か年のコミットメント取組総括	3か年の総括として、安定的にし尿・浄化槽汚泥収集業務を提供し、経営も平成29年度から3か年黒字を維持していたことから、コミットメントは概ね達成されたものと評価しています。
外 郭 団 体	3か年の経常収支状況総括	いずれの年度も黒字決算を達成することができ、健全経営を維持しました。

【平成29年度～令和元年度】浜松市外郭団体コミットメント

様式 1

1. 団体基本情報（令和2年4月1日現在）



団体名	公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構	市所管課	産業部 産業振興課
資本金	965,700 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	543,000 千円 (56.2 %)
設立目的 (簡潔に記載)	産学官との交流及び連携のもとに各種事業を通じて地域企業の経営基盤強化を図ることにより、浜松地域はもとより静岡県産業経済の発展に寄与することを目的とする。		
		設立年月	昭和56年3月

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
外郭団体	経常収支状況の過年度 (令和元年度)実績に関する評価	市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
		設立目的については、産業振興施策の中核的な推進機関として地域の産業経済発展のための各種事業を展開しています。同種の事業における随意契約の委託については、地域企業の様々な課題や要求に対して満足度の高い対応ができる体制を有し、総合的に高いレベルで事業実施できる唯一の機関となっています。職員派遣等については、市の施策遂行のため組織の一員としてその役割を担っています。よって、外郭団体は必要です。	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (令和元年度)実績に関する評価	経常収益 657,993千円(前年度:498,114千円) 経常費用 643,440千円(前年度:483,107千円) 当期経常増減額 14,553千円(前年度:15,007千円)	
		経常収益については、サポイン事業の件数増(H30:3件→R1:7件)による国補助金増、次世代自動車センター事業・フォトンバレーセンター事業にかかる県市町の負担金・補助金増等により、前年度比159,879千円の増加となりました。経常費用については、サポイン事業にかかる助成金増、次世代自動車センター事業・フォトンバレーセンター事業の拡充等により、160,333千円の増加となっています。 当期経常増減額は前年度並みの14,553千円の黒字となりました。令和2年度は、当期経常増減額▲269千円見込んでいます。	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針の必要性	コミットメント1「成長分野における新規事業化数の増加」については、評価指標及び準指標ともに計画以上の実績値を達成しており、特に評価指標の製品試作数・事業化数において、令和元年度は過去5年間で最も高い実績値となっています。 また、コミットメント2「経営健全化の達成」についても黒字化を達成している上、公益財団法人として理想とする収支相償も実現している。以上の結果は当機構がコミットメント達成に向け努力を積み重ねた結果であり、本市の産業振興施策の中核的な推進機関としての役割を果たしてきたと評価する。	
		無(“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること) 【決算:当期一般正味財産増減額】 (平成30年度)15,007千円、(令和元年度)14,553千円 計画的な事業実施により黒字となっており、喫緊の経営改革の必要性は生じていません。引き続き安定的な経営に努めてください。	

外郭団体	理念	「はままつ産業イノベーション構想」の実現に向けて、地域企業における経営資源の強化や成長分野への参入支援等を推進する。
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	経営・技術・知財・地域連携のコーディネーター等を配置し、創業から、人材育成、知財活用、新技術・新製品開発、新事業展開、補助金等の資金確保、販路開拓まで、企業の各段階のニーズに応じたきめ細かな支援事業の立案・実施を通じて、地域企業のイノベーションの実現を支援する。
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	なし
	上記計画における令和2年度の課題と重点目標	地域企業の状況・ニーズに基づく支援を求められており、企業訪問等による情報収集を積極的に行い、地域企業の課題解決をサポートすることにより経営資源の強化を推進していきます。 平成30年度の「次世代自動車センター」設置に続き、令和2年度にロボットやIoT導入支援のワンストップ窓口である「スマートものづくり支援デスク」を立ち上げる体制を整える等、地域産業の成長や新産業の創出を支援していきます。

3 コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が 団体に 求める 役割	役割	<ul style="list-style-type: none"> 「はままつ産業イノベーション構想」において、構想を実現するための地域の総合的な産業支援機関として、公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構を位置付けており、本市の産業振興施策の中核的な推進機関としての役割を期待します。 県西部地域の市町との連携を強化した広域事業を展開することで、地域全体の発展を図るとともに、市内企業と外部資源とのイノベーション創出を担う推進機関としての役割を期待します。 		
		位置付け	<ul style="list-style-type: none"> 浜松市未来ビジョン（計画期間：平成27～令和26年度） はままつ産業イノベーション構想（計画期間：平成23～令和2年度） 		
					
対応方針	浜松市が定める事業等の目標	1	成長分野における新規事業化数の増加		
		2	経営の健全化		
		3			
					
外郭団体	コミットメント	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容	1	公益	新産業の創出・新事業展開に向け、地域企業の研究開発を支援し、製品試作や事業化を支援します。
			2	財務	当期経常増減額（公益事業会計、法人会計）の黒字化を目指します。
			3		

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標						
外 郭 団 体	1	公益 成長分野における新規事業化数の増加	支援の成果による製品試作数・事業化数						
	概要	新産業の創出・新事業展開に向け、地域企業の研究開発を支援し、製品試作や事業化を支援します。	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
			計画	件	31	35	30	30	30
	実績	30	30				36		
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		財団の経営、技術、知財、地域連携のコーディネーターが、国県市の施策と一体になって、地域企業の製品開発や事業化を支援します。						
	準指標1-1	人材育成事業受講企業数	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
			計画	社	680	777	700	700	700
			実績				794	756	794
	準指標1-2	企業訪問数	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
			計画	件	-	978	1,000	1,000	1,000
実績			1,231				1,034	1,042	
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		「はままつ産業イノベーション構想」が目指す新産業の創出・新事業展開には、個々の企業の製品化、事業化の積み重ねがベースとなります。							
評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		【過年度分析】 企業や個人事業主が抱える課題やニーズを把握し、新事業展開や研究開発に活用できる補助金等各種支援施策の情報提供や連携先の紹介等、課題解決・事業化のための経営・知財・技術的なアドバイスを行ってきた成果であると考えます。							
		【目標水準の根拠】 前年度実績に基づき、計画値を設定しました。							
コミットメント名			評価指標						
2	財務	経営健全化の達成	当期経常増減額						
概要	当期経常増減額(公益事業会計、法人会計)の黒字化を目指します。	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		計画	千円	16,433	31,375	0	0	0	
		実績				43,815	15,006	14,553	
コミットメントを達成するための取組内容及び期限		財団運営の経費節減に努め、毎年度決算の上記黒字化を達成します。							
準指標2-1	法人会計(管理費会計)については黒字化を目指す	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		計画	千円	11,872	11,761	0	0	0	
		実績				14,958	15,229	15,824	
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		公益財団法人として、「公益事業の収支相償」と「財団の経営健全化」と両立させていくために、公益事業については事業計画に基づいて事業費を執行していくこと、財団運営に関しては、経費削減・安定的な収入の確保に努めます。							
評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		【過年度分析】 当期経常増減額について、「公益事業会計+法人会計」では黒字となった一方、公益事業会計においては、▲1,271千円とほぼ収支相償を実現することができました。							
		【目標水準の根拠】 公益事業会計では、積極的に地域の中小企業の支援を行い、収支相償の実現に努めます。法人会計では、経費節減等により黒字確保を目指していきます。							

5. 3か年のコミットメント等の総括

外郭団体	3か年のコミットメント取組総括	本コミットメントに掲げた2つの指標及び3つの準指標について、全て計画を上回っています。3か年の総括として、地域の産業経済の発展に一定程度寄与していると評価します。
(所管課 浜松市)		3か年を通じて評価指標及び準指標全てにおいて計画を上回っており、地域の産業支援施策の中核的な推進機関としての役割を果たしています。また、公益財団法人としても適切に運営されてきたと評価します。
外郭団体	3か年の経常収支状況総括	当期経常増減額について、平成29年度は43,815千円、平成30年度は15,007千円、令和元年度は14,553千円であり、経営状況は安定していると考えています。

【平成29年度～令和元年度】浜松市外郭団体コミットメント

様式 1



1. 団体基本情報（令和2年4月1日現在）

団体名	公益財団法人 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー	市所管課	産業部 観光・シティプロモーション課
資本金	480,000 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	100,000 千円 (20.8%) 設立年月 平成元年6月
設立目的 (簡潔に記載)	浜松市、湖西市及びその周辺地域の有する文化的・社会的・経済的優位性を生かし、地域社会の健全な発展を目指し、地域の多様な関係者との連携により地域ブランドとして磨き上げ、国内外の観光誘客及びコンベンションの誘致等を行う。また、地域が観光で稼ぐ力を強化することで、観光事業者が観光コンベンションに関する産業の振興と観光まちづくりを推進し、もって地域経済の持続的発展及び地域住民の満足度向上に資することを目的とする。		

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
		検証に対する考え方	設立目的について、地域連携DMOとして、本地域における多様な関係者との連携・協業により、地域が観光で稼ぐ力を強化するため、組織・業務実施体制の強化、マーケティングリサーチを踏まえた戦略策定、収益モデルの構築など、地域経済の持続的発展に資する活動を担うことから、本市からの運営費補助や随意契約の委託、職員派遣などを継続します。
外郭団体	経常収支状況の過年度 (令和元年度)実績に関する評価	経常収益 223,426千円 (前年度:196,339千円) 経常費用 222,695千円 (前年度:188,566千円) 当期経常増減額 730千円 (前年度:7,773千円) 当期一般正味財産増減額 ▲1,814千円 (前年度:7,766千円) なお、公益事業については、公益財団法人の収支相償の原則により、計画的に執行しています。	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (令和元年度)実績に関する評価	本市が定める目標の達成に向け、概ねコミットメントが果たされていると考えます。	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	無(“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること) 【決算：当期一般正味財産増減額】 (平成30年度)7,766千円、(令和元年度)▲1,814千円 令和元年度は赤字となっていますが、計画的な事業実施により、喫緊の経営改革の必要性は生じていません。引き続き安定的な経営に努めてください。	
外郭団体	理念	観光が地域の持続的発展を支える主要産業に位置づけられ、多様な主体による観光地域づくりにより市民が愛着や誇りを持てる都市	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	財団の柔軟性と機動力を活用し、 ①「人」をつなぐ ②「地域」をつなぐ ③「情報」をつなぐ	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	・浜松市観光ビジョン(計画期間:平成30～令和4年度) ・浜名湖観光圏整備実施計画(計画期間:平成26～30年度) ・浜名湖観光圏整備実施計画(計画期間:令和元～5年度)	
	上記計画における令和2年度の課題と重点目標	浜名湖観光圏におけるプラットフォーム機能の強化 コンベンション誘致(新たなコンベンション開催形態への対応等) プロパー職員の資質向上(専門知識習得やデジタルリテラシー向上等)	

3 コミットメント設定の考え方

浜松市（所管課）	市が団体に求める役割	役割	コンベンション及び観光の持続的な発展を推進するため、「コンベンションの誘致及び主催者への支援事業」、「観光振興事業」、「観光インフォメーションセンターの管理運営」を3本柱として、「コンベンションの誘致事業」、「コンベンションの支援事業」、「観光圏整備推進事業」、「インバウンドの推進事業」、「観光インフォメーションセンターの管理運営事業」等を推進するほか、「浜松まつり組織委員会」、「出世の街 浜松 家康公祭り実行委員会」、「都市型レンタサイクル推進協議会」等において事務局を務め、観光地域づくりプラットフォームの役割を担う。 また、専門人材の登用やKPIの測定のためのデータ収集や分析等により、「DMOの機能強化」、「マーケティング調査」、「収益モデルの構築・民間事業者との事業連携」を行い、地域が観光で稼ぐ力を強化する役割を担う。	
		位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松市観光ビジョン（計画期間：平成30～令和4年度） ・浜名湖観光圏整備計画（計画期間：平成26～30年度） ・浜名湖観光圏整備計画（計画期間：令和元～5年度） 	
				
対応方針	浜松市が定める事業等の目標	1	地域全体のコーディネーターとして、地域に多数存在する魅力ある観光資源を掘り起こすとともに、地域独自の価値に基づいた滞在プログラムを造成し、情報発信によって、来訪者の回遊性の向上や滞在時間の延長を図ること。	
		2	戦略的コンベンションセールスマーケティング活動として、国内外のコンベンションを誘致するため、企画提案型のセールス活動や視察コーディネートなどを行い、地域への経済効果を生み出すこと。	
		3	地域連携DMOとして地域と地域をつなぐ観光地域づくりプラットフォームを確立し、収益モデルの構築や民間事業者との連携・協業などの取り組みを進め、地域が観光で稼ぐ力を強化すること。	
				
外郭団体	コミットメント	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容	1	公益 地域全体のコーディネーターとして、地域に多数存在する魅力ある観光資源の掘り起こしを行うとともに、地域独自の価値に基づいた滞在プログラムを造成し、情報発信することによって、来訪者の回遊性の向上や滞在時間の延長を図る。
			2	公益 2～3年後を見据えて国内外のコンベンションを誘致するため、企画提案型のセールス活動や視察コーディネートなどに積極的に取り組み、地域への経済効果として令和元年度におけるコンベンション総消費額90億円を達成する。
			3	組織 観光地域づくりのプラットフォームとして、また浜松・浜名湖地域の地域連携DMOとしての機能強化を図るため、プロパー職員の専門知識の習得や能力の開発に努める。

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標
 財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標
 組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標
 その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標						
外郭団体	1	公益 地域をつなぐ「プラットフォーム」戦略	滞在プログラム参加者数						
	概要	地域全体のコーディネーターとして、地域に多数存在する魅力ある観光資源の掘り起こしを行い、地域独自の価値に基づいた滞在プログラムを造成し、おもてなしの向上や地域の情報を発信することによって、来訪者の回遊性の向上や滞在時間の延長を図る。	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
			計画	人	3,778	3,055	3,100	3,300	3,400
			実績				3,239	1,933	2,257
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		地域の回遊性、滞在時間の向上を図るため、着地型旅行や体験メニュー等の造成・収集や効果的な情報発信に努め、当地域における滞在プログラムの参加者数を令和元年度に年間3,400人にする。						
	準指標1-1	海外視察受け入れ数	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
			計画	人	594	1,232	1,300	1,400	1,500
			実績				1,337	4,316	4,454
	準指標1-2	「浜松だいすきネット」ページビュー数	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
			計画	万件	418	452	460	470	480
		実績				457	234	207	
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		観光地域づくりプラットフォームとして、滞在プログラム造成や情報発信の機能強化を図る必要があり、中期計画においても、情報の一元化と効果的な情報提供に努め、ブランドイメージの確立を目指している。							
評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		滞在プログラムの参加人数は、家康公まつりに合わせて開催されてきたJRさわやかウォーキングの参加者が多くを占めており、直虎の大河ドラマ以降の参加人数の減少が大きく影響しています。一方、ちよい旅（着地型旅行商品販売サイト）の参加人数は約200%と伸長しました。公式HPのビュー数は、令和元年度上期にHPの大幅な刷新を行い、従来あった情報を絞り込み観光情報に特化した影響で数値上は減少していますが、下期からは前年を上回るビュー数となっています。 令和2年度は、観光庁が定めるDMOの重要KPIとして作成した指標である、地域及び組織KPIに統合します。							
外郭団体	2	公益 戦略的コンベンションセールスマーケティング活動	コンベンション「総消費額」						
	概要	2～3年後を見据えて国内外のコンベンションを誘致するため、企画提案型のセールス活動や視察コーディネートなどに積極的に取り組み、地域への経済効果を生み出す。	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
			計画	億円	90	83	90	90	90
			実績				81	88	92
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		コンベンション関連産業とのネットワークを構築し、令和元年度までに、支援するコンベンションを年間180件に増加させ、コンベンション総消費額を90億円にする（※浜松まつりを除く）。						
	準指標2-1	コンベンション支援件数	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
			計画	件	171	166	180	180	195
			実績				178	184	301
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		コンベンションの開催は経済効果が高いことから中期計画においても重点分野の一つとして位置付け、誘致に向けプロモーションを強化するとともに、地域の関連企業と連携してサポートプログラム等の充実を目指す。						
	評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		会議・学会等のコンベンション件数は72件（前年比175.6%）、MICE（会議、招待旅行、大会、展示会等）全般で134件（前年比132.7%）と伸張しました。地域に根ざす大学や組織、当地開催の利便性、複数年にわたる地道な誘致営業、「東京オリンピック・パラリンピック2020」を控え意識的に地方開催とする傾向などが相乗効果となり、計画の達成に繋がりました。またコンベンション支援件数は、助成金制度をはじめ丁寧な支援を行い、前年比163.6%で計画を達成しました。 コンベンション助成金申請数は、前年比▲7件で減少しましたが、H30年度比では+14件（計47件）あり、例年実施しているMICE案件の支援を積み上げて計画達成を目指します。一方、令和2年度上期を中心に新型コロナウイルス感染予防のため、開催を中止・延期するコンベンション等MICEが多数発生している状況です。						

コミットメント名			評価指標						
外郭団体	3	組織 外部環境の変化に即した組織体制整備 人材育成	外部及び内部研修の回数						
	概要	観光地域づくりのプラットフォームとして、また、浜松・浜名湖地域の地域連携DMOとしての機能強化を図るため、プロパー職員の専門知識の習得や能力の開発に努める。	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
			計画	回	12	16	18	20	22
			実績	回	12	16	18	30	33
コミットメントを達成するための取組内容及び期限	平成30年4月からの地域連携DMOへの移行とともに、観光地域づくりプラットフォームとしての組織再編に取り組みます。あわせて、プロパー職員の専門性を高め、職員の資質向上を図る。								
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性	地域連携DMOとしての役割を果たすには、一層の機能強化とプロパー職員の資質向上を図る必要があるため、中期計画においても、プロパー職員の育成を重点分野の一つとして掲げている。								
評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠	DMOの機能強化に向けた職員のスキルアップに繋がる研修や、時代を反映した新たな事業展開に繋がる研修にも積極的に参加しました。今後もプロパー職員を中心に専門知識の習得や能力の開発に努めます。								
	地域連携DMOとしての役割を果たすためには、調査、データ収集、連携などが必要ですが、最も重要なのはそれをどう検証・分析し、活かしていくか、地域の稼ぐ力に変えていくかであり、高度な専門性が求められることから、プロパー職員を中心とした人材育成は大変重要であり、継続して一定数の研修機会を与える必要があると考えます。								

5. 3か年のコミットメント等の総括

外郭団体	3か年のコミットメント取組総括	この3年間は、大河ドラマの舞台となった平成29年度から始まったこともあり、その反動減などに苦しむところもありました。平成30年度にはDMOに改組し、地域の合意形成と戦略的な取り組みにより順調に国内外からの誘客活動を進めてきました。しかし、新型コロナウイルスの影響により、全く先行きの見えない状況となったことから、新たな生活様式の中での新たな観光のあり方について模索し、効果的な施策を打っていく考えです。
(所管課市)		3か年の総括として、大河ドラマの放送があった平成29年度から、誘客に関しては反動減はあったものの、それ以外の指標については、おおむね達成できたものとして評価しています。達成できなかったコミットメントについては、新型コロナウイルスの影響により、実情に即して評価する必要がありますが、新しい生活様式に沿った形で各種事業を展開するよう求めます。
外郭団体	3か年の経常収支状況総括	この3年間の経営状況は安定しており、公益事業においても、公益財団法人の収支相償の原則により、計画的に執行しています。

【平成29年度～令和元年度】浜松市外郭団体コミットメント

様式 1



1. 団体基本情報（令和2年4月1日現在）

団体名	公益財団法人 浜松市勤労福祉協会	市所管課	産業部 産業総務課
資本金	110,000 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	50,000 千円 (45.5 %)
設立目的 (簡潔に記載)	勤労者の福祉の増進、勤労者の知識及び教養の向上のための事業を実施		
設立年月	昭和63年3月		

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	<p>設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討</p> <p>外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討</p> <p>市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討</p> <p>検証に対する考え方 本協会は、中小企業勤労者の福利厚生事業の中核機関として事業を実施し、中小企業と大企業との格差縮小に向けた取り組みを行っています。同種の事業を行う民間法人は従業員数の多い企業を対象に全国的な事業を展開する傾向がある中、本協会では会員の日常生活に密着した地元の施設やサービスを利用できる事業を展開しています。また、会員のニーズに応じた健康維持事業や余暇活動などのメニューを用意し、勤労者の福祉の増進を図り、地域社会の発展に寄与しています。よって、本外郭団体は必要であると判断します。</p>	<p>該当しない</p> <p>該当しない</p> <p>該当しない</p>
外郭団体	経常収支状況の過年度 (令和元年度)実績に関する評価	<p>経常収益 472,279千円 (前年度: 504,046千円)</p> <p>経常費用 477,835千円 (前年度: 507,938千円)</p> <p>経常増減差額 ▲5,555千円 (前年度: ▲3,892千円)</p> <p>当期活動増減差額 ▲5,626千円 (前年度: ▲3,921千円)</p> <p>指定管理事業における利用料金収入の減額が大きく、赤字決算となりました。令和2年度は収支相償の原則による運営を目指します。</p>	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (令和元年度)実績に関する評価	<p>会員の事業満足度については、計画値には及ばなかったものの高い評価を得ており、今後も会員が求める事業を実施し、更なる向上に努めていただきたいと考えます。また、会員数については、広報活動を積極的に実施したものの伸び悩んでおり、より多くの中小企業勤労者が福利厚生サービスを受けられるよう、事業の組み立て等を整えるよう求めます。</p>	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	<p>無(“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること)</p> <p>【決算: 当期一般正味財産増減額】 (平成30年度) ▲3,921千円、(令和元年度) ▲5,626千円</p> <p>令和元年度は5,626千円の赤字でしたが、新型コロナウイルスの影響に伴う使用料収入減等によるものであり、喫緊の経営改革の必要性は生じていません。引き続き安定的な経営に努めてください。</p>	
外郭団体	理念	<p>勤労者とその家族のための豊かな暮らしを保障する福利厚生の充実を図り、地域社会の活性化を目指します。</p>	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	<p>①勤労者とその家族の福利厚生の充実を図ります。</p> <p>②中小企業の振興及び地域社会の発展に寄与していきます。</p>	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	<p>永続的な公益事業の推進を目指した、財務・組織の強化を図るための「自立化プラン」及び「実施計画」</p>	
	上記計画における令和2年度の課題と重点目標	<p>理念とビジョンを役員及び職員が共通認識することにより、浜松市・湖西市勤労者共済会の会員数拡大と実施事業の充実を図っていきます。</p>	

3 コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が 団体に 求める 役割	役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求職者の企業選択の条件として福利厚生充実が重要視される中、中小企業単独では実施が困難な福利厚生事業を行い、中小企業の魅力を高めて労働力の確保に繋がられることを期待します。 ・ 中小企業の福利厚生事業の中核機関として事業を一層充実し、勤労者の福祉の増進を図り、地域社会の発展に寄与することを期待します。 		
		位置付け			
					
対応方針	浜松市が 定める 事業等の 目標	1	福利厚生事業等の一層の充実を図り、会員の満足度向上を目指します。		
		2	より多くの中小企業勤労者が福利厚生サービスを受けられるよう、会員数の拡大に努めます。		
		3			
					
外郭団体	コミットメント	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容	1	公益	事業満足度（5段階）を含むアンケート調査の実施により、会員のニーズに沿った事業を開催し、会員の満足度を高めます。
			2	組織	全職員による広報活動及び効果的な広報ツールの検討・活用により会員の拡大に努めます。
			3		

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標							
外 郭 団 体	1	公益	満足度が高い事業の実施	5段階評価における評価4以上の割合						
	概要	事業満足度(5段階)を含むアンケート調査の実施により、会員のニーズに沿った事業を開催し、会員の満足度を高めます。		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	%	-	-	90	90	90
				実績				89	94	87
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		事業参加者へのアンケート調査を事業内容の充実に活かし、参加者の満足度が継続的に高水準を保てるよう努めます。							
	準指標1-1	アンケート調査の実施		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	回	-	-	15	20	20
				実績				16	16	17
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		会員ニーズの把握により事業の見直しを行い、自立化プラン実施計画に掲げる会員の拡大に繋げていきます。							
	評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業が中止となり、アンケート数が減となったが、概ね満足度が高い事業を実施できました。							
会員の退会防止につなげるため、90%以上の満足度を設定しました。										
コミットメント名			評価指標							
外 郭 団 体	2	組織	会員拡大策の実施	浜松市・湖西市勤労者共済会会員数						
	概要	全職員による広報活動及び効果的な広報ツール検討と活用により会員の拡大に努めます。		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	人	-	-	21,150	21,900	22,450
				実績				21,238	21,643	22,075
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		職員意識の向上と効率的な広報活動の実施により、令和元年度末までに会員数22,450人を達成します。							
	準指標2-1	会員獲得戦略会議の開催		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	回	-	-	6	8	8
				実績				9	10	9
	準指標2-2	新規事業所紹介キャンペーンの実施		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	回	-	-	6	6	6
			実績	6				6	6	
準指標2-3	加入促進ダイレクトメールの発送		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
			計画	件	-	-	1,000	1,000	1,000	
			実績				1,131	1,312	2,147	
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		会員数の拡大が自立化プラン第Ⅱ期(平成29年度～令和元年度)実施計画での最も重要な目標です。								
評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		令和元年度以降の景気後退感及び新型コロナウイルス感染症による入会保留等により、目標が達成できませんでした。								
		自立化に向けての会員拡大								

5. 3か年のコミットメント等の総括

外郭団体		3か年の総括として目標会員数を達成することができませんでした。今後も、事業満足度を維持しつつ景気の動向や社会情勢の変化に応じた会員拡大策を策定し、自立化に向けて取り組みます。
(所管課 浜松市)	3か年のコミットメント取組総括	会員の事業満足度が高い事業の実施については、3か年を平均すると概ね目標を達成することができました。今後も会員のニーズに合わせた事業の実施をしていただきたいと思います。会員拡大策の実施については、増加傾向は維持しているものの目標達成には至りませんでした。今後は、事業内容や広報手法を検討し、会員拡大に努めるとともに、社会情勢の変化に合わせた効果的な事業を行うよう求めます。
外郭団体	3か年の経常収支状況総括	平成29年度については効率的な事業運営と指定管理施設の利用向上等により黒字となり、平成30年度については収支相償の原則により前年度黒字分での公益目的事業の追加実施により赤字となりました。令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅な赤字となりましたが、このような不測の事態がなければ、安定した経営状況にあると考えられます。

【平成29年度～令和元年度】浜松市外郭団体コミットメント

様式 1



1. 団体基本情報（令和2年4月1日現在）

団体名	公益財団法人 浜松市花みどり振興財団	市所管課	都市整備部 緑政課
資本金	55,000 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	55,000 千円 (100.0 %)
設立目的 (簡潔に記載)	花き類の栽培や展示等の事業を通して、花みどりの普及と情操教育の場の提供に努めるとともに、園芸文化の創造とその情報を発信することにより、浜松市及び浜名湖周辺の地域振興を図る団体として市民・地域の生活に潤いと安らぎを与え、もって地域社会の活性化に資すること。		
		設立年月	昭和44年10月

2. (政策実現のパートナーとして) 市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
		市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
	検証に対する考え方	公益財団法人浜松市花みどり振興財団（以下「財団」という。）は、館山寺総合公園のフラワーパークの指定管理者として、運営のノウハウを活かし、利益を施設に投資しながら、常に施設の魅力向上に努め、美しい庭園を演出することで入場者数をV字回復させました。これまでにフジを始め、魅力ある庭園の創出を行っており、その管理には知識と技術が必要であるとともに、その知識・技術は、長年にわたり継承されていかなければならず、財団は、それを可能とすることができる唯一無二の団体です。また、同施設において、周辺観光施設と連携して「浜名湖花フェスタ」の開催を牽引し、成功に導いているほか、令和元年5月に登録されたガーデンツーリズム「アメイジングガーデン・浜名湖」の中心的施設として浜松・浜名湖ツーリズムビューローとも連携しており、観光や地域振興に寄与する当該事業の推進の要となっています。財団の廃止は、施設の運営のノウハウや庭園の管理技術を失い、長年に渡り築いてきた地域や周辺施設との関係をも喪失すると考えます。	
外郭団体	経常収支状況の過年度 (令和元年度)実績に関する評価	経常収益 562,686千円（前年度：536,097千円） 経常費用 581,969千円（前年度：551,548千円） 経常増減差額 ▲19,283千円（前年度：▲15,451千円） 当期一般正味財産増減差額 ▲19,283千円（前年度：▲15,451千円） 当初から予定していた事業（園内の整備）の実施、新型コロナウイルス感染拡大の影響が深刻化したことにより来場者数が急失速したため赤字となりました。	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (令和元年度)実績に関する評価	コミットメントの目標に届かない結果となってしまいましたが、年度の後半における新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、それまでの入園者数や報道件数等の実績は堅調に推移していたことから、総合的には評価できません。 今後も、新型コロナウイルスの影響があるものと考えられますが、園内のライブ映像の配信など来園者の回復に繋がる新しい情報発信の取り組みに期待します。	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	無（“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること） 【決算：当期一般正味財産増減額】 （平成30年度）▲15,451千円、（令和元年度）▲19,283千円 令和元年度については赤字となりましたが、令和2年度の開園50周年に向けた整備を行ったことなどによるものであり、喫緊の経営改革の必要性は生じていません。引き続き安定的な経営に努めてください。	
外郭団体	理念	花き類の栽培展示、栽培技術指導及び優良種苗の生産配布による園芸文化の普及と情操教育の推進に関する事業を推進する。	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	感動分岐点を超える美しい花の装飾展示、公園福祉事業等を通じた社会貢献、浜名湖地域の活性化に寄与していくことを基本ビジョンに、より多くの市民に安らぎと感動を与える園づくりを実現する。	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	フラワーパーク50周年記念整備事業（～令和2年度）	
	上記計画における令和2年度の課題と重点目標	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、宣伝活動やイベント事業の一切を行うことができず、当園がかつて経験したことのない厳しい運営を強いられています。一方、令和2年度は、50周年の節目の年であり、感染防止対策を行いながら可能な範囲での事業展開により、コミットメントの達成に努めます。	

3 コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が団体に求める役割	役割	来園者サービスを第一に、いつでも誰もが楽しめ感動できるおもてなしの心にあふれる憩いの場を実現し、情操教育の場としても活用されることを期待します。また、園芸文化の創造と積極的な発信により市民・地域の生活に潤いと安らぎを与え、浜松市及び浜名湖周辺の地域振興を図ることを期待します。		
			位置付け	浜松市緑の基本計画（平成22年度～令和元年度）	
					
	対応方針	浜松市が定める事業等の目標	1	フラワーパーク50周年となる令和2年度に向けて施設の整備を進め、国内外から入園者を安定して獲得してください。	
		2	様々な媒体を活用し、特に積極的にSNSを利用した情報発信を進めることで、より広く国内外にタイムリーなフラワーパーク情報を発信し浜名湖周辺の地域振興につなげ、「花と緑のまち・浜松」の推進に努めてください。		
		3			
					
外郭団体	コミットメント	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容	1	財務	フラワーパーク年間入園者50万人近い恒常的集客による安定経営を確立（公益法人移行前の入園者水準25～26万人から+25万人程度の入園者の安定的確保）します。
			2	公益	新聞、テレビ、ラジオ、雑誌等宣伝媒体を幅広く活用し、園のタイムリーな魅力の積極的な情報発信等、国内外に向けた当園PRの強化による「花と緑のまち・浜松」推進拠点としての地位を確立します。
			3		

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標							
外郭団体	1	財務	入園者の安定集客	フラワーパークの年間入園者数						
	概要	29年度から令和2年度のフラワーパーク年間入園者について、毎年50万人近くの恒常的集客を果たすことで安定経営の一層の確立を図ります(公益法人移行前の入園者水準25~26万人から+25万人程度の入園者の安定的確保を目標とす)。		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	万人	48.4万人	47万人	47万人	48万人	49万人
				実績				51万人	43.2万人	46万人
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		引き続き「世界一美しい桜とチューリップの庭園」の充実はもとより、周辺地域でも類を見ないフジの庭園づくりを進め、春～初夏の行楽シーズンにおける集客効果を一層高めます。							
	準指標1-1	インバウンド観光客の増加		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	人	3,000人	6,600人	7,000人	7,500人	8,000人
				実績				7,100人	8,300人	5,300人
	準指標1-2	フラワーパーク顧客満足度評価アンケート(5点満点)		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	点	4.5点	4.6点	4.6点	4.7点	4.7点
			実績				4.6点	4.6点	4.5点	
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		選定理由は入園者増が財団の経営安定化に最も直結する指標であるためです。中期計画では主にハード面における施設整備を進め、次の50年の園運営に弾みを付ける計画を展開します。								
評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度結果分析】</p> <p>入園者数については、年度当初から2月ごろまでは、コミットメント達成水準にありましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、国内はもとより、インバウンド団体ツアーのすべてがキャンセルになる等の影響により、3月の入園者数が過去3年平均比の6割程度になりました。</p> <p>「顧客満足度評価」については、園内の花の充実を始め、レストランや売店等の施設においても満足いただけるよう、サービスの向上に努めてまいります。</p> <p>【目標水準の根拠】</p> <p>現行の指定管理期間の実績(平成28年度から令和元年度見込)の平均の入園者数の維持を目標水準とし、収支の実績から目標水準以上であれば安定的な法人運営が可能と判断しました。</p>								
コミットメント名			評価指標							
外郭団体	2	公益	報道機関等への積極的情報発信	取材件数						
	概要	新聞、テレビ、ラジオ、雑誌等宣伝媒体を幅広く活用し、最新の開花具合等の積極的な状況発信と話題性の高い園情報のタイムリーな拡散に努めることで、国内外に向けた当園PRを一層強化し、「花と緑のまち浜松」推進拠点としての役割を担っていきます。		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	件	376	311	320	330	340
				実績				335	313	300
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		花の見頃や開花時期に応じたリアルタイムな情報発信等、マスコミ向けに積極的な投げ込みを行い、効率的な情報拡散に努めます。							
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		取材件数増は、「浜名湖＝花の観光地」のイメージ定着によりシティプロモーションの役割を果たすとともに、館山寺温泉の代表的な情報発信拠点として、周辺の観光振興と地域PR・活性化を推進する最適な指標のためです。							
	評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分結果分析】</p> <p>「報道機関への情報発信」は新型コロナウイルス感染拡大のため、花フェスタ関連の宣伝広告や情報提供が全く発信できない厳しい運営を強いられていることが影響しました。</p> <p>【目標水準の根拠】</p> <p>過去5年の実績を踏まえた目標水準とします。</p>							

5. 3か年のコミットメント等の総括

外郭団体		3か年総括として藤棚整備、大物盆栽展開催、大温室改修、ホワイトガーデン造成、ローズガーデンリニューアル等様々な魅力作りに惜しみなく投資し、20年後の市民に多大な資源を継承する事ができました。また「天浜線花のリレープロジェクト」を通じて沿線の魅力向上と観光活性化の推進、地域連携に大きな足跡を残したと評価しています。達成できなかったコミットメントについては新型コロナウイルス終息後の経済の回復具合も見ながら達成に向け努力します。
(所管松市)	3か年のコミットメント取組総括	3か年の総括として、コミットメント達成のため、ハード面においては藤棚整備を始めとした新たな園の魅力の創出を進め、ソフト面においては、園内の開花状況の動画配信など魅力的で来園したくなるような情報発信をするなど、今後を見据えた事業展開をしていただいたものと評価しています。 達成できなかったコミットメントについては、今後も積極的に園の魅力を創出・発信することで、達成に向け努力してください。
外郭団体	3か年の経常収支状況総括	平成29年度については9,000千円の黒字、平成30年度については逆にその反動で桜の満開時期が年度内になかったこと及び各種園づくりに事業執行した影響で赤字となりました。令和元年度も新型コロナウイルスの影響がなければ収支相償あるいは黒字になっていたものと認識しており、3か年では収支的に見れば厳しい状況でしたが、経営状況は比較的安定しているものと考えています。

【平成29年度～令和元年度】浜松市外郭団体コミットメント

様式 1



1. 団体基本情報（令和2年4月1日現在）

団体名	一般財団法人 浜松まちづくり公社	市所管課	都市整備部 都市計画課
資本金	437,800 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	110,000 千円 (25.1 %)
設立目的 (簡潔に記載)	地域のまちづくりを支援するとともに、都市整備事業の促進及び公共施設等の管理運営を行うことにより、地域の発展に貢献することを目的とする。		
設立年月	昭和37年4月		

2. (政策実現のパートナーとして) 市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
外郭団体	経常収支状況の過年度 (令和元年度)実績に関する評価	市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討	該当しない
		検証に対する考え方 設立目標については、市との連携により市が直接実施するよりも効率的かつ効果的に政策実現させることです。同種の事業については、類似の事業を行う民間法人は存在しません。運営費補助や随意契約の委託、職員派遣等については、浜松駅前広場関連施設の管理、運営や市営駐車場の管理を指定管理者の構成員として行うほか、市民主体のまちづくり活動支援等を実施しています。よって外郭団体は必要です。	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (令和元年度)実績に関する評価	経常収益 418,616千円 (前年度: 440,739千円) 経常費用 380,529千円 (前年度: 408,597千円) 当期経常増減額 38,087千円 (前年度: 32,142千円) 一般正味財産増減額 38,087千円 (前年度: 32,142千円) 令和元年度は予定を上回る黒字となり、2年度も引き続き黒字を見込んでいます。	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	公益目的である「まちづくり事業」において、まちづくり活動の支援として、市民主体のまちづくり活動へのサポートや、都市整備に関する普及啓発に寄与しています。新規組合施行土地区画整理事業の立ち上げについては、関係機関と都市計画決定の変更協議を進めているので、引き続き未同意者数の減少を図り、計画通り組合設立ができることを期待します。 無(“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること) 【決算: 当期一般正味財産増減額】 (平成30年度) 32,142千円、(令和元年度) 38,087千円 計画的な事業実施により黒字となっており、喫緊の経営改革の必要性は生じていません。引き続き安定的な経営に努めてください。	
外郭団体	理念	地域のまちづくりを支援するとともに、都市整備事業の促進及び公共施設等の管理運営を行うことにより、地域の発展に貢献する。	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	公益目的支出計画を確実に遂行しながら、一方で新規事業の開拓に尽力、獲得し、公社全体でも非営利型一般財団法人として毎年度収支相償を目指す。	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	公益目的支出計画	
	上記計画における令和2年度の課題と重点目標	主力事業である組合区画整理支援事業が終息に向かうなか、新たな組合の立ち上げに全力を尽くす。また、新規の収益事業の確保に向けた研究・調査を進めます。	

3 コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が 団体に 求める 役割	役割	市は、公益目的事業において市民が主体となったまちづくり活動の支援や都市整備に関する調査研究及び普及啓発について、浜松まちづくり公社が市と連携を図り地域の発展に寄与していくことを期待します。		
		位置付け	中心市街地活性化に関する法律に基づき「中心市街地整備推進機構」の指定を受け、浜松市中心市街地活性化協議会の構成員になっています。		
					
対応方針	浜松市が 定める 事業等の 目標	1	公益目的事業において、市民が主体となって行うまちづくり活動を支援し、地域社会の健全な発展を目指してください。		
		2	地域住民及び市と連携し新規事業を掘り起こしてください。		
		3			
					
外郭団体	コミットメント	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容	1	公益	公益目的支出計画上の実施事業である「まちづくり事業（まちづくり活動の相談窓口の設置等）」を充実させ、地域社会の健全な発展に貢献します。
			2	その他	主力事業である組合施行土地区画整理事業のうち、地元からの要望が強い新たな地区について支援し、区画整理組合の立ち上げを目指します。
			3		

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標							
外郭団体	1	公益	まちづくり事業の充実	まちづくり事業への充当額						
	概要	公益目的支出計画上の実施事業である「まちづくり事業(まちづくり活動の相談窓口の設置等)」を充実させ、地域社会の健全な発展に貢献します。		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	千円	33,797	34,476	30,000	30,000	30,000
				実績			32,407	30,408	30,977	
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		一般財団法人認可時の公益目的支出計画に従い、公益目的であるまちづくり事業を令和38年度までの44年間、継続的に実施します。							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		一般財団法人移行に伴い、静岡県に認可された公益目的支出計画に基づき実施することが必要です。								
評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】 令和元年度までについては、順調に推移していると考えます。</p> <p>【目標水準の根拠】 まちづくり事業への充当額である年間30,000千円という値は、一般財団法人移行時の公益目的支出計画上の年間予定額であり、今のところ見直す予定はありません。</p>								
コミットメント名			評価指標							
外郭団体	2	その他	新規組合施行土地区画整理事業の立ち上げ	令和3年度設立を100%とした場合の進捗率 (令和3年度に事業設立)						
	概要	主力事業である組合施行土地区画整理事業のうち、地元からの要望が強い新たな地区について支援し、区画整理組合の立ち上げを目指します。		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	%	50	60	70	70	80
				実績			65	70	80	
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		<p>地元関係者及び浜松市と意見交換を重ね、事業の必要性を説明するとともに、事業認可手続きを進め、令和3年度中に新たな区画整理組合の設立を目指します。 (進捗率の説明) 平成29年度:関係機関との協議を進め、都市計画決定の変更協議を行い概ね合意を得られれば70% 平成30年度:事業計画見直し案を策定して70% 令和元年度:見直した事業計画の地元の同意及び、関係機関と都市計画決定の変更協議の最終合意を得られれば80% 令和2年度:設立認可申請書を作成して90% 令和3年度:権利者の90%以上の同意を得て事業認可申請を行い、組合が設立されれば100%</p>							
準指標2-1	未同意者数の減少 (土地所有者総数171名)		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
			計画	名	—	34	25	25	34	
			実績				27	27	34	
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		新規組合区画整理事業は、令和3年度以降の主力事業となりうるものです。(仮)浜北中央北地区について、組合設立に向け、動きを加速させ、実現化に向け動いています。								
評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		<p>【過年度分析】 事業計画の変更案に関して、変更箇所直接关系到権利者に説明の上で、地元説明会を開催しました。また関係機関との都市計画決定の変更協議を進めています。進捗については、事業計画の変更による若干の遅れを取り戻し、令和3年度の組合の設立に向けて進んでいます。</p> <p>【目標水準の根拠】 令和3年度に組合を設立するために設立認可申請書を作成します。</p>								

5. 3か年のコミットメント等の総括

外郭団体		3か年の総括として「まちづくり事業の充実」に関しては毎年目標値を達成し、静岡県への年次報告に関しても毎年承認されています。「新規組合施行区画整理事業の立ち上げ」については、事業計画の変更により若干の遅れが生じましたが、令和3年度の組合設立に向けて概ね進めることが出来ました。
所管松市 (浜松課)	3か年のコミットメント取組総括	3か年の総括として「まちづくり事業の充実」においては、毎年評価指標のまちづくり事業への充当額を達成し、地域社会の健全な発展に寄与しています。また、「新規組合施行区画整理事業の立ち上げ」については、関係機関との協議で事業計画の内容が変更となり、事業の進捗に遅れは出ましたが、地域住民及び市と連携を重ねることにより、計画通り令和3年度の組合設立に向けて進んでいると評価しています。
外郭団体	3か年の経常収支状況総括	当期一般正味財産増減額が平成29年度については27,697千円、平成30年度については32,142千円、令和元年度については38,087千円でした。3か年で100,000千円ほどの正味財産増となっており、経営状況は安定している、と考えています。

【平成29年度～令和元年度】浜松市外郭団体コミットメント

様式 1



1. 団体基本情報（令和2年4月1日現在）

団体名	株式会社 なゆた浜北	市所管課	産業部 産業振興課
資本金	250,000 千円	市出資・出捐額 (市出資・出捐率)	195,000 千円 (78.0 %)
設立目的 (簡潔に記載)	遠州鉄道浜北駅前再開発ビル並びにその付帯設備の管理運営、不動産賃貸事業他		
設立年月	平成11年11月		

2. (政策実現のパートナーとして)市と外郭団体の関わり方

		廃止を検討すべき基準	該当状況
浜松市 (所管課)	外郭団体の必要性検証 (「浜松市外郭団体の設立及び運営に対する関与の基本方針」第5条第1項第1号)	設立目的について「達成した」場合、又は設立目標について「達成できないことが確定した」「外部的要因により達成若しくは消滅した」のいずれかに該当する場合は法人の廃止を検討	該当しない
		外郭団体の行う事業の大半の事業と同種又は類似の事業を行う民間法人がある場合は法人の廃止を検討	該当しない
	検証に対する考え方	市から運営費補助、随意契約による委託及び職員派遣を現在行なっておらず、将来もこれらが不要と見込まれる場合は市の関与の廃止を検討 (株)なゆた浜北は、旧浜北市の主導により、平成13年4月に公共公益施設、商業施設及び住宅を主用途とする複合施設「なゆた・浜北」の総合的な管理運営並びに保有不動産（商業床）の賃貸管理を行う第三セクターの法人として設立され、複合施設「なゆた・浜北」の商業床の不動産管理を行うにあたり、公益性の強い施設という点を重視し、テナントの選定を行っています。市が関与することで、公益性の強い施設として、秩序ある活用が担保されると考えます。	該当しない
外郭団体	経常収支状況の過年度 (令和元年度)実績に関する評価	経常収益 190,808千円（前年度：157,432千円） 経常費用 179,209千円（前年度：148,819千円） 経常利益 11,599千円（前年度：8,613千円） 当期純利益 7,837千円（前年度：4,702千円） 平成30年度末に新たに2店舗入居したことによりテナント賃貸収入が増えたこと、指定管理事業が概ね当初計画通りの収入となったこと、管理協議会売上高が設備の経年劣化による大口の更新工事があったことにより、平成30年度と比較して増収となりました。また経費では、水道光熱費で中部電力の値下げ効果や修繕費の削減により、当初計画より内輸に収めることができ、経常利益増2,986千円の増加となりました。令和2年度は経常利益12,896千円を見込んでいます。	
浜松市 (所管課)	コミットメントの過年度 (令和元年度)実績に関する評価	利用者満足度については高い水準を保つことができたことと評価します。年間店舗稼働率については昨年度から改善したものの、計画の98.0%は達成できなかったため、引き続き営業活動を実施してコミットメント達成に向けて取り組むことを求めます。	
浜松市 (政策法務課)	経営改革方針 の必要性	無（“有”の場合、外郭団体は、アクションプランを策定すること） 【決算：当期一般正味財産増減額】 (平成30年度) 4,702千円、(令和元年度) 7,837千円 計画的な事業実施により黒字となっており、喫緊の経営改革の必要性は生じていません。引き続き安定的な経営に努めてください。	
外郭団体	理念	わが社は「ありがとうの心」と「チャレンジの精神」をもって社業を推進し、社会（地域）に貢献する企業を目指す。	
	ビジョン (コミットメント期間において、目指す基本方向)	店舗資産の価値を高め、店舗稼働率を高めることにより来店客を増やし浜北駅前の賑わいを創設する。	
	(ビジョンに関連する外郭団体における計画等)	<ul style="list-style-type: none"> 店舗での設備更新に向けた修繕引当金の計上（空調設備更新） 店舗入居率90%の確保 令和元年度都市開発資金借入金完済 	
	上記計画における令和2年度の課題と重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 店舗での設備更新に向けた修繕引当金の計上（空調設備更新） 店舗入居率98%の確保 	

3 コミットメント設定の考え方

浜松市 (所管課)	市が 団体に 求める 役割	役割		副都心の拠点としての遠州鉄道浜北駅前再開発ビル並びにその付帯設備の管理運営、不動産賃貸事業の安定的、継続的運営	
		位置付け		浜松市商業集積ガイドラインにおいて広域集客ゾーンに位置づけています。	
					
	対応方針	浜松市が 定める 事業等の 目標	1	適正な施設管理、運営による駅前の賑わい創出を目指してください。	
2			経営の効率化、安定化による健全運営を行ってください。		
3					
外郭団体	コミットメント	外郭団体が策定し、浜松市に約束する内容			
			1	公益	利用者満足度向上のため、施設を清潔に保ち、安心して安全に利用していただける環境を整え、親切な対応やわかりやすい説明をしサービスの向上に努めます。
			2	財務	店舗年間稼働率の向上を図ります。
			3		

公益…公益的な使命や市民（利用者）目線での達成する目標

財務…外郭団体の財務状況（市からの支出金含む）について達成する目標

組織…組織や業務プロセス改善等について達成する目標

その他…上記以外

4. コミットメント

コミットメント名			評価指標							
外郭団体	1	公益	利用者満足度の向上	お客様アンケートでの満足度評価						
	概要	施設を常に清潔に保ち、安全に利用していただけるように環境を整え、お客様への親切な対応やわかりやすい説明をし感謝の気持ちで接客をします。		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	%	-	-	80	80	90
				実績				82	90	90
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		お客様の声を拾い、応対や設備などの改善につなげます。							
	準指標1-1	お客様の声に対する改善率（改善要望のうち、実現可能な要望における実施率。実施数/実現可能要望数）		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	%	-	-	85	90	90
	実績	85	85	90						
	コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		平成29年度事業計画に基づきます。							
	評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		【過年度分析】 満足度評価＝（満足＋やや満足）／総数 303/336＝90.28% お客様の声に対する改善では、練習室の鏡の追加購入、故障中の机の購入設置、舞台袖の姿見の購入設置の改善をしました。							
【目標水準の根拠】 引き続き満足度の高い水準の維持、向上に努めます。										
外郭団体	コミットメント名			評価指標						
	2	財務	店舗年間稼働率の向上	店舗年間稼働率						
	概要	店舗の資産価値向上を図り、入居率100%、年間稼働率の向上を目指します。		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	%	98.5	92.4	93.5	95.7	98.0
				実績				91.0	94.3	96.0
	コミットメントを達成するための取組内容及び期限		あらゆる媒体を利用して情報発信をする。適切な賃料の設定をする。							
	準指標2-1	地元不動産業者への訪問活動実施（年間回数）		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
				計画	回	-	-	12	12	12
	実績	12	12	12						
	準指標2-2	修繕引当金の計上		区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
計画				千円	4,000	4,000	1,000	1,000	6,000	
実績	4,000	6,000	9,000							
コミットメントの選定理由及び団体の中期計画等との関連性		平成29年度事業計画に基づきます。								
評価指標の過年度結果分析及び令和2年度の目標水準の設定根拠		【過年度分析】 201区画の残り1室について、貸し付け先が内定していたところ令和元年5月にキャンセルとなりました。その後入居促進のため営業活動をし、令和2年4月に保育所の移転が進んでいましたが、新型コロナウイルスの影響で白紙となりました。								
		【目標水準の根拠】 現在空室の1店舗は進捗していましたが、4月にキャンセルされたため、令和元年度下期からの入居を目標数値としました。								

5. 3か年のコミットメント等の総括

外郭団体	3か年のコミットメント取組総括	<p>3か年の総括として、長らく空室であった201区画（旧・紀乃國屋）を3分割にする内装工事を実施、また、206区画（旧・きん魚）を含め計3店舗入居させることができました。令和元年度から指定管理業務を受託し、電力会社と値下交渉を実施するなど、経費削減に努め、収支を好転させることができました。課題であった長期借入都市開発資金の繰上返済を令和2年3月に実施したなど、総じて良かったと評価しています。</p> <p>達成できなかった店舗年間稼働率については新型コロナウイルスの影響も読めない状況ですが、令和6年度までに達成するよう取り組みます。</p>
（所管課） 浜松市		<p>3か年の総括として、経費削減や年間店舗稼働率の向上等によって収支が好転し、内部留保も順調に増大したことから、健全な経営であったと評価しています。併せてお客様の満足度評価も高い水準を維持しており、年間店舗稼働率も向上しました。</p> <p>今後については、空室になっている区画の早期入居を実現し、年間店舗稼働率のコミットメントの達成ができるように引き続き営業活動や情報発信等に取り組むよう求めます。</p>
外郭団体	3か年の経常収支状況総括	<p>平成29年度については経常利益5,282千円、平成30年度については経常利益8,612千円、令和元年度は経常利益11,599千円でした。3か年とも黒字であり、経営状況は安定しており、改善したと考えています。</p>